

第五十一回帝國議會
衆議院

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件(民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員會會議錄(速)第七回)

會議

大正十五年三月十七日(水曜日)午後一時二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 齋藤 隆夫君

理事 服部 英明君

理事 磯部 尙君

理事 山口 政二君

高木益太郎君

平川松太郎君

横山金太郎君

岡本實太郎君

熊谷 直太君

近藤 達兒君

佐々木文一君

麓 純義君

禰 苗代君

三月十六日理事戸澤民十郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十七日服部英明君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 本田 恒之君

司法書記官 長島 毅君

司法書記官 森田豐次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

民事訴訟法中改正法律施行法案(政府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

○齋藤委員長 是ヨリ開會致シマス、本日ハ第四章訴訟手續、第四節裁判、之ニ付テ御質問ヲ願ヒマス、菅原君

○菅原委員 百八十九條、百九十條ニ付キマシテ一寸伺ヒタイノデアリマス、此條文ノ趣旨ハ承知シテ居リマス

ガ貴族院ノ方デ判決言渡ハ裁判長主文ヲ朗讀シテ之ヲ爲スト云フ所ニ、判決

原本ニ基キ「斯ウ云フヤウニ修正ニナッ

タヤウデアリマス、百九十條ニ於キマ

シテハ「辯論終結ノ日ヨリ一週間内ニ

之ヲ爲ス」是ガ「二週間」ト云フコトニ聞

イテ居リマスガ、固ヨリ私ハ此修正ハ

結構ナコトデアリマシテ、從來ハ原本

ガ數ヶ月若クハ一年位モ遅レテ居リマ

スガ、併シ斯ウ云フ場合ニ嚴格ニ規定

致シマスレバ、裁判官ノ責任モ非常ニ

重クナル、果シテ當局デハ此原本ニ基

イテ主文ヲ朗讀スルト云フコトトソレ

カラ口頭辯論終結ノ日ヨリ二週間内ニ

用テ済マスト云フコトガ、此條文通リ

立派ニ行ハレ得ルヤウニ御考デゴザイ

マセウカ

○長島政府委員 此點ハ當局モ非常ニ

考ヘマシタノデ、御承知ノ通り東京、大

阪等ニ於キマシテハ事件ガ澤山アリマ

スノデ、區裁判所等ニ於キマシテハ一

時ニ事件ガ輻輳シテ一時ニ結審ヲスル

ヤウナコトハアルノデアリマス、此判

決ノ原本ノ作製ガ遅レルトカ云フヤウ

ナコトデ、非難ガアルト云フコトヲ貴

族院デ言ハレマシテ、色ト取調ベタ

モノデアリマスガ、大體ニ於テハ皆延

ビテ居ルノガ已ムヲ得ザル事情ニ基ク

モノバカリナノデアッタノデアリマス、

併ナガラ兎ニ角此原本ノ作製ガ延ビル

ト云フコトハ宜クナイコトデアリマス

カラ、此際第一項ヲ「判決原本ニ基キ」

ト云フヤウナコトニシタラドウカト云

フヤウナ御意見ガ出マシテ、之ニ對シ

テハ吾ミノ方デモ之ヲ拒ムベキ理由ハ

ナイノデ、第一項ニ斯ノ如キ文字ヲ入

ルコトニナッタノデアリマス、其代リ期

間ハ一週間ヲ二週間ト致シマシテ、尙

ホ之ニ但書ヲ加ヘテ、事實已ムヲ得ザ

ルモノハ延バスト云フヤウナ風ニシ

テ、成ベク此條文ヲシテ意義アルモノ

ニシヤウト云フコトデアッタノデアリ

マス、先ヅ吾ミトシテモ大體此規定ノ

趣旨ガ十分ニ貫徹スルヤウニ、各種ノ

點ニ於テ考慮ヲ致ス考デゴザイマス

○菅原委員 御答辯ノ通り實行ガ出來

レバ結構デアリマスガ、其所ニ又但書

ガ付キマシテ「但シ事件ノ繁雜ナルト

キ其ノ他特別ノ事情アルトキハ此ノ限

ニ在ラス」ト云フ但書ガアリマスカラ、

是ノミヲ多ク適用サレルコトニナリマ

スレバ、其百八十九條ノ第一項ニ於テ、

原本ニ基キ判決ヲ言ヒ渡スト云フ、非

常ニ立派ナ條文ガ實行上無意味ニ終ル

コトガ起リハセヌカト思ヒマス、兎ニ

角此條文ハ結構デゴザイマスガ、裁判

官ニハ非常ニ重イ責任ヲ負ハシメルモ

ノト私ハ思フノデアリマス、之ニ關係

致シマシテ承ラネバナラスコトハ、第

四節裁判ト云フ所ニ現行法ノ所謂缺席

判決ノ條章ガ廢止セラレタト云フコト

デアリマス、之ニ付キマシテ何レ總括

的ノ御質問ノ時ニ委員カラ御質問ガ

アッタト思ヒマスカラ、極ク簡單ニ申上

ゲテ置キマスガ、政府ヨリ頂戴致シマ

シタ大正十一年、十二年、十三年ノ統計

表ニ依リマシテモ、缺席判決ノ數ハ對

席判決ノ數ニ比シ非常ニ多イノデアリ

マス、之ヲ總括的ニ申シマスト全國ノ

地方裁判所ノ民事訴訟ノ判決中、缺席

判決ハ對席判決ニ對シテ約七割ニ當

リ、其中故障申立ノ數ガ約半數ニ過ギ

ナイ、ソレカラ區裁判所ノ判決中缺席

判決ハ對席判決ニ比シマシテ約倍數ア

ル、其中故障申立ヲ爲ス者ハ二割三分

ニ當ッテ居ル、其他ノ者ハ大體ニ於テ缺

席判決デ承服シテシマウ、即チ地方裁

判ニ於キマシテハ約二割、區裁判所ニ

アリマシテハ、約五割ハ事件關係者ガ

缺席判決ニ満足シテ居リマス、缺席判

決トシテ其儘確定スルモノハ莫大ナモ

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ト云フコトハ、

ノデアルト思フノデアリマス、所ガ今度之ヲ廢シマシテ百三十八條ノ法文ヲ用キマシテ、サウシテ對席判決ト云フコトニナリマス、連モ現在ノ裁判官ノ數デハ遣リ切レナイ、却テ繁雜困難ヲ來シテ、訴訟ノ遲延ヲ來タシハセヌカト云フコトヲ恐レルノデアリマス、東京ノ裁判所等ニ於キマシテハ大分忙シイノデ、裁判官ハ熱心ニ其衝ニ當ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、地方ニ行キマスと裁判長ガ辯論ヲ指揮シ、陪席判事ノ判決係ノ主任ハ一生懸命裁判ニ携ハルガ、モウ一人ノ陪席判事ハ殆ド其事件ニ關係シナイデ、別ノ事件ヲ調ベテ居ル、是ハ辯護士ノ辯論ナドハ聽ク必要ナイト云フ官僚的氣分バカリデナク、矢張仕事ニ忙殺サレテ、事件ノ辯論中當該事件以外ノ事ヲ調ベテ居ルト云フ模様デアリマスカラ、若モ此缺席判決ノ條文ガ廢止ニナリマスト、益裁判官ハ重荷ヲ負ヒ、到底遣リ切れヌ、隨テ判事ノ増員、書記ノ増員ヲヤラネバナラヌコトニナル、百八十九條ト百九十條ニ依リマシテ一應裁判長ハ判決原本ヲ作テ、サウシテ嚴格ニ裁判ヲ言渡ス、斯ウ云フ重荷ヲ負フ、一方ニ於テ缺席判決ヲ對席判決ニ直シテ、理由ヲ付シテ判決スルト云フコトニナリマスカラ、裁判官ハ二重ノ重荷ヲ負フコトニナリ、却テ事件ヲ一層遲滯ナラシムルコトヲ恐レルノデアリマス、ドウカ小委員會ニ於テハ縱令現行法通り

ノ條文デナクテモ、何トカ制限ヲ附シテ此缺席判決ヲ復活スル必要有リト思ヒマスカラ、小委員會ニ於テ十分御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、最近新刑事訴訟法ニ依リマシテ矢張事件ヲ早く進メタイト云フノデ、期間ヲ短縮シテ居リマスガ、裁判所ノ書記ニ於テ書類ガ出來ナイ、證人調書トカ何トカ云フモノガ中々直グ出來ナイ、サウシテ愈辯論ト云フ時ニ書類ガ纏ラズニ、辯護士ハ裁判長ノ判ヲ貰ッテ、出來上ッた調書ヲ見ナイデ辯論シナケレバナラヌト云フ狀態ニ陥ッテ居ル、即チ裁判官ノ數ガ足りナイト云フ結果、條文ノミ美麗ニ出來上ッテモ實行ガ之ニ伴ハナイト云フヤウナコトガ起リハセヌカ、事件ノ進捗ヲ圖ルト云フ趣旨ガ徹底シナイヤウナコトガ起リハセヌカト云フコトヲ恐レルノデアリマスカラ、此點ニ付キマシテ政府當局ハ或ル制限ノ下ニ缺席判決ヲ存置スル御意思ガ有ルカ無イカト云フコトヲ承ッテ置キタイト思フ

○長島政府委員 案ヲ實行シマセヌト結局分ラナイコトデアリマスガ、此案ノ考ト致シマシテハ、缺席判決ヲ廢シタガ爲ニ手數ガ餘計ニ掛ルトカ、審理ガ延ビルトカ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、個々ノ事件ヲ捉ヘマセレバ或ハ延ビルモノモアルデアリマセウガ、全體ヲ通シテ此方ガ審理モ早く出來、判斷モ適正ニナルト云フ考ノ下ニ出來テ居ルノデアリマス、其點ハ既ニ數回申上ゲマシタノデ、此所ニハ省略致シタイト思ヒマス、尙ホ缺席判決ヲ復活スル意思ガ有ルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、是亦小委員會ニ於キマシテ十分ニ意見ヲ交換致シマシテ、其上デ一ツ實行シタイト思ヒマス

○菅原委員 闕席判決ガ廢止サレル結果、控訴ト云フコトニナルト普通ノ貼用印紙ノ規定ニ附ッテ、從來闕席判決ハ其以外ノ判決ノ控訴ト同ジ意味デ、同ジ額ノ印紙ヲ貼ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウスルト大ニ國家經濟ノ上ニ於テモ非常ナ損害ガアルデアアルマイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此統計表ニ依テモ闕席判決ハ——非常ニ一般國民ニ經濟的打撃ヲ與ヘハシナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、何カ之ニ就テ御考慮ヲサレタコトハアリマスカ

○長島政府委員 此案ノ考ト致シマシテハ、此故障ノ申立、ナイヤウナモノデアリマスレバ、無論控訴ノ申立モ少ナイデアアラウ、ソレカラ故障ノ申立ノアリマスルヤウナモノハ、故障ヲ申立テテ置イテ、又控訴ヲスルト云フコトニナッテ、結局當事者ノ費用ガ印紙代ニ於テ多クナリハセヌカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○菅原委員 私ハ第百八十九條、第百九十條ニ依テ判決原本ニ基イテ、判決ヲ言渡スト云フコトハ、裁判官ニ取ッテハ、最も重大ナル責任アル重荷デアルト考ヘテ居ル、闕席判決ノ廢止ニ依リマシテ、私ハ一層事件ガ複雑ヲ致シテ、即チ闕席判席デ濟ム者ハ一々理由ヲ附シテ判決ヲ書クノデアリマスカラ、是ハ現在ノ程度ヨリハ裁判官ニ於テハ重荷デアアル、又現在ノ裁判官ノ數デハ連モヤリ切レナイ、是等ノ點ニ鑑ミマシテ此民事訴訟法ノ改正ト共ニ裁判官ノ數ヲ増員スルトカ、改革スルトカ考慮シナケレバナラヌト思ヒマスガ、其點モ伺ヒタイ

○長島政府委員 今回ノ豫算ニハ別段ニ判事書記等ノ増員ニ付テハ何等要求シテ居リマセヌガ、併ナガラ尙ホ裁判所方面ノ意見モ徵シテ、或ハ増員ヲ要スレバ増員致ス考デアリマスガ、唯準備手續ヲ行ヒマス結果、受命判事ニ依テ準備ヲ十分ニ致スコトガ出來マスカラ、或ハ此點ニ於テ多少手ガ省ケルカモ知レヌト思ッテ居ルノデアリマスガ、併シ實際ヤッテ見ヌト分リマセヌカラ、能ク裁判所等ノ意見ヲ徵シテ考慮シタイト思ヒマス

○平川委員 私ハ判決交付ニ關スル規定ヲ設ケ——判決言渡ノ日ヨリ一週間内ニ裁判書記ニ交付スルト云フ規定ガアリマスレドモ、此送達ヲスル期間ト云フモノハ現行法ニモ此草案ニモ規定シタイナイ、レデ折角判事ガ原本ヲ裁判所ニ交付致ズ規定ガアリマシテモ、書記ガ之ヲ等閑ニ附シテ置ク、實際ノ例ト

シテ東京ナドデハ判決ノ送達ガ半年以上モ掛ルト云フヤウナコトガ往々アル、ソレデ此草案ニ於ケル訴訟ヲ迅速ニスルト云フ趣意ガ貫徹シナイコトニナル、此訴訟法ハ職權主義ヲ加味セラレ、嚴重ニ期間等ヲ設ケラレ、或ハ短縮セラレテ、訴訟ヲ簡易ニスルト云フ趣意ノ下ニ規定セラレタノデアリマスガ、裁判所側ニ斯ウ云フ期間ヲ設ケテ居ナイ爲ニ、結局此目的ガ達セラレナイヤウナ場合ガアリハセヌカト思フ、故ニ此判決送達ノ期間モ設ケ、何日以内ト云フ期間ヲ設ケレバ非常ニ便利デナイカト思ヒマスガ、此點如何デスカ

ハ、判決原本ヲ書記ガ受領シマシテ、現ニ吾々ノ關係シテ居ルノデ、原本ヲ書記ガ受領シテ居リナガラ判決書ヲ書カナイ、ソレガ半年以上モ經ッテ居ル、請求スルト手ガ足りナイカラ君ノ方カラ來テ書イテ呉レト云フヤウナ撓揆ヲ聞イテ居ル、實ニ言語道斷デアル、サウ云フ點ハ一ツ政府當局ガ裁判所ニ御注意ヲ願ヒタイ、法文ニ規定セラレナイト云フ事デアレバ、相當ノ方法ヲ以テ早ク原本ヲ作製シテ送達スルヤウ御注意願ヒタイト思ヒマス

○磯部委員 私モ今菅原君、平川君ヨリ發言セラレタルコトニ付テ考テ同ジクスル者デアリマス、百九十條ガ貴族院デ二週間ト改ッテ但書ガ附ケラレタノハ、但書デスカカリ本文ノ精神ガ没却セラレル、御承知ノ通り刑事訴訟法ガ改正セラレテ、拘留シテカラ二十日間内ニ拘留ノ効力ヲ失フ、其間ニ豫審ノ決定ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ規定セラレタ時ニ、吾々ハ立法者ノ英斷ニ實ハ驚イタノデアリマス、所ガ新刑事訴訟法實施以來今日マデ多數ノ大キイ事件デ二十日間内ニ釋放シテ豫審終結決定ヲシタ事件ト云フモノハタッタ一ツモナイ、之ヲ潜リ途ヲ拵ヘテ何トデモ出來ル、潜門ヲ拵ヘテアルカラ拔ケラレル、此百九十條ノ「二週間内ニ之ヲ爲ス但シ事件繁雜ナルトキ其ノ他特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス」矢張今日ノ弊習ヲ追フニ止ルト思ヒマス、デアリマスカラ私共此判決ノ言

潜ルコトガ出來ナイト云フコトニナラウト思ヒマス、是ハ一ツ御一考ヲ下サイマシテ、小委員會デ否ヤノ御返事ヲ願ヒタイ、ソレカラ百九十六條ノ二項デアリマスガ、貴族院デ「申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ」ト爲サツタノデアリマスケレドモ、是ハ矢張當事者ガ擔保ヲ供スルコトヲ申立テタ時ニハ、必ズ擔保ヲ供セシメテモ供セシメナクテモ宜イガ、假執行ヲアルコトヲ得ベキコトヲ宣言スルコトニシタ方ガ宜イト思ヒマスガ、御意見ハ如何デスカ

○長島政府委員 大體此民事訴訟法ノ言渡、或ハ原本ノ交付等ニ付キ規定ヲ設ケタノハ、判事ニ對スルモノデアリマシテ、判事ハ相當地位ノ高イ者デアリマスシ、旁々此法文宜イト云フ位ノ趣旨デ出來テ居ルノデアリマス、送達ニ付テハ期間ヲ切ッテ書クトシテモ、「遲滞ナク」ト云フヤウナコトニナリハシナイカ、物ニ依テハ一週間モ遅レテハ困ル、非常ニ判決ノ長イモノデアリマシテ、輻輳シテ居レバ一週間位掛ルモノモアリマセウ、今マデノ監督方法ガ良クナカッタト云フ御非難カモ知レセマヌガ、民事訴訟ノ條文ニ書カヌデモ十分行ケル事ト思ヒマス

○磯部委員 此條文中ニ此送達ノ期間ヲ規定スルト云フコトハ、或ハ當ヲ缺クカモ知レマセヌガ、併シ實際ニ於テハ、判決原本ヲ書記ガ受領シマシテ、現ニ吾々ノ關係シテ居ルノデ、原本ヲ書記ガ受領シテ居リナガラ判決書ヲ書カナイ、ソレガ半年以上モ經ッテ居ル、請求スルト手ガ足りナイカラ君ノ方カラ來テ書イテ呉レト云フヤウナ撓揆ヲ聞イテ居ル、實ニ言語道斷デアル、サウ云フ點ハ一ツ政府當局ガ裁判所ニ御注意ヲ願ヒタイ、法文ニ規定セラレナイト云フ事デアレバ、相當ノ方法ヲ以テ早ク原本ヲ作製シテ送達スルヤウ御注意願ヒタイト思ヒマス

○磯部委員 前ノモ一ツ意見ダケ伺ッテ置キマセウ、今私ノ申シマシタ事ニ付テ政府ハ尙考ヘナケレバナラヌカ、今直ニ御反對ノ御意見カドウカ

○長島政府委員 此分ハ是ダケ直シタ事ソレ自身ガ、非常ニ裁判所トシテ從來ヨリ責任ノ重クナルコトデアリマスカラ、實ハ餘程事務全體ノ上ニ於テ大

○平川委員 此條文中ニ此送達ノ期間ヲ規定スルト云フコトハ、或ハ當ヲ缺クカモ知レマセヌガ、併シ實際ニ於テハ、判決原本ヲ書記ガ受領シマシテ、現ニ吾々ノ關係シテ居ルノデ、原本ヲ書記ガ受領シテ居リナガラ判決書ヲ書カナイ、ソレガ半年以上モ經ッテ居ル、請求スルト手ガ足りナイカラ君ノ方カラ來テ書イテ呉レト云フヤウナ撓揆ヲ聞イテ居ル、實ニ言語道斷デアル、サウ云フ點ハ一ツ政府當局ガ裁判所ニ御注意ヲ願ヒタイ、法文ニ規定セラレナイト云フ事デアレバ、相當ノ方法ヲ以テ早ク原本ヲ作製シテ送達スルヤウ御注意願ヒタイト思ヒマス

○磯部委員 此條文中ニ此送達ノ期間ヲ規定スルト云フコトハ、或ハ當ヲ缺クカモ知レマセヌガ、併シ實際ニ於テハ、判決原本ヲ書記ガ受領シマシテ、現ニ吾々ノ關係シテ居ルノデ、原本ヲ書記ガ受領シテ居リナガラ判決書ヲ書カナイ、ソレガ半年以上モ經ッテ居ル、請求スルト手ガ足りナイカラ君ノ方カラ來テ書イテ呉レト云フヤウナ撓揆ヲ聞イテ居ル、實ニ言語道斷デアル、サウ云フ點ハ一ツ政府當局ガ裁判所ニ御注意ヲ願ヒタイ、法文ニ規定セラレナイト云フ事デアレバ、相當ノ方法ヲ以テ早ク原本ヲ作製シテ送達スルヤウ御注意願ヒタイト思ヒマス

○磯部委員 前ノモ一ツ意見ダケ伺ッテ置キマセウ、今私ノ申シマシタ事ニ付テ政府ハ尙考ヘナケレバナラヌカ、今直ニ御反對ノ御意見カドウカ

○長島政府委員 此分ハ是ダケ直シタ事ソレ自身ガ、非常ニ裁判所トシテ從來ヨリ責任ノ重クナルコトデアリマスカラ、實ハ餘程事務全體ノ上ニ於テ大

變ナ影響ガアルコト思フノデアリマス、ソレダケノ修正デモ吾ミノ方トシテ、苦痛ヲ感ジタノデアリマス、勿論是ハ吾ミノ責任問題デアリマス、勿レドモ、果シテ其人員トカ總テノ設備ガ十分ニ出來テ居ッテ、人間ノミガ狡クテ斯ウ云フ結果ニナッテ居ルカドウカト云フコトハ非常ナ疑問デアリマシテ、色色經費ヤ何カノ點カラ致シマシテ、ドウシテモ吾ミガ思フヤウナ設備トカ人員ノ供給ガマダ十分ニ出來テ居ラナイノデアリマス、ソレデ唯人ノミヲ責メルト云フコトガ果シテ適當デアラウカ、ドンナ途ヲ設ケテモ矢張出來ナイ事ハ出來ナイノデアアル、勿論ソレハ幾分緊張シテ居ラヌト云フコトモアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ點モ隨分アルノデアリマシテ、是スラモ大ニ引受ケルノニ困難ヲ感ジテ居リマスカ

ラ、其點ハ實情ノ御諒察ヲ只管御願シタイト思ヒマス、併ナガラ又小委員會デ能ク御話ヲ願ヒマシテ、成ベク出來ルコトナラバサウ致シタイト思ヒマス
○磯部委員 此二百條ニ「外國裁判所ノ確定判決ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス」トアル、是ハ確定判決ノ效力ヲ有スト云フ意味デアリマス、執行力ニ付テハ又別ニ據リ所ヲ御拵ヘニナッタノデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 是ハ判決ガ效力ヲ持ッテ居ルト云フコトニ規定致シタノ

デアリマシテ、執行ノ方ノ方法ノ問題ハ強制執行ノ方ノ、規定ノ方ノ第六編ノ方デアリマス、其方ヘ譲ッタノデアリマス、時効ノ判決ノヤウナモノニ付キマシテハ執行ノ問題ガ起リマセヌノデ、斯ウ云フ場合ニハ矢張判決ノ效力ニ對シテ外國判決ノ規定ヲ置イテ置イタ方ガ宜イデアラウト云フノデ、玆ニ今度設ケルコトニ致シマシタ

○高木委員 長島政府委員ニ判決ノ事ニ付テ伺ヒタイノデスガ、即決判決ヲ原則ニスルコトニ付テ、何カ御協議ガアリマシタカドウデアリマセウカ、日本デモ民事訴訟法實施ノ際ニ於テ、例ヘバ橫濱ノ裁判所ノ如キハ多數ノ事件ハ即決ノ判決ヲシテ、更ニ當事者ノ返事ヲ聞イテ、記憶ノ散逸シナイ時ニ、嶄新ナ頭デ直グ言渡ラスルノデアリマスカラ、非常ニ言渡ニ威力ガアルシ、言渡ノ間違モ少イノデアリマス、是ガ二日經テ、三日經テ、一週間經テ、甚シキハ先頃當席ノ委員長ガ個人トシテ大審院長ニ交渉セラレタヤウナ羽田代議士ノ選舉ニ關スル問題ノ如キコトガ起ルト云フト、結局種々ナル疑惑ヲ起シテ、司法ノ威信ニ關スルヤウナ事柄ガアリマシテ、其結果、一ツノ決議ヲ齎シテ大審院長及司法大臣ニ交渉ヲシテ、漸クニシテ裁判ガアッタト云フヤウナコトガアリマス、ソレハ内部ニ於テ如何ナル運動ガアッタカナイカト云フコトハ聞キマセヌガ、兎ニ角外部ニ於テ司法ノ威

信ニ關スル一ツノ決議ガアッタト云フコトハ、甚ダ遺憾ナ次第デアアル、又先頃モ藥屋ト醫者トノ問題ニ付テ所謂職業ノ範圍ガドコデ極マルカト云フ、賣藥ノ範圍ハドコ迄及ボスコトガ出來ルカト云フ問題ニ付テ、大審院長ノ許ヘ北里博士ガ運動ニ行ッタト云フヤウナ事實モアル、私ハ甚ダ面白ク思ハヌノデアリマス、其當時ハ貴族院ニ於テ中ミ北里君ト言ヘバ勢力家デアリマシテ、司法部ノ司長ノ所ヘ兎ニ角運動ニ行ッタナドト云フコトヲ聽クノデアリマス、是ハ畢竟スルニ辯論ノ終結ト判決ノ言渡トニ間ガアルカラ、色々ノ世ノ中ニ誤解ヲ懷カシムルヤウナコトガ起ル、我ガ民事訴訟法實施ノ際ノ如ク、即決ノ裁判ヲスル、當事者ノ辯論ヲ聽イテ、ソレカラ直グ合議室ニ這入ル、合議ガ纏ッたら、ソコデ直グ判決ノ主文ニ基イテ之ヲ朗讀シテ終結ヲ計ルト云フコトデアレバ、サウ云フ間違モ起ラズ、當事者モ亦迅速ニ事件ガ解決スルノデ満足スルコトデアラウト思フ、ソレデアリマスルカラ、凡ソ判決ハ、口頭辯論ガ終結シタラ直グ言證ヲスル、斯ウ云フコトヲ原則ニシテ、萬一煩雜ナ事件デ已ムヲ得ナイ場合ハ、次ノ開廷日ニ言渡ラスルト云フヤウナ風ニセラレタ方ガ宜イダラウト私ハ思フノデアリマス、ソレデ今迄ノ訴訟法デハ、餘リ準備ノ事ニ付テハヤカマシイ事ハナカッタガ、今度ハ訴訟ノ準備ノ事ニ付テ種々

ナル注意ガ拂ッテアルノデアリマスカラ、隨テ判決モ早く出來ル譯デヤナイカト思フノデアリマス、ドウモ海外先進國ノ裁判所ヘ行ッテ羨マシク思フノハ、直グ其所デ裁判ヲシテシマフ、是ハドウモ一番羨マシク思フ、事件ヲ判決言渡ダケヲ別ノ日ニスルト云フコトハ殆ド少イ、殊ニ佛蘭西ノ大審院ノ如キハ、上告人ガ上告ノ趣意ヲ述ベ、被上告人ガ之ニ答辯ヲスル、係官ハ其當事者ノ居ル所デ直グ協議セラレテ、受命判事ノ報告ヲ聽イテ、其所デ直ニ上告ノ理由ガ有ルトカ無シトカ云フコトヲ直グ判決ヲスル、如何ニモドウモ生ミトシテ、其間ニ運動ナドノ虞ガ無イ、洵ニ公明正大ナ感ヲ懷ク、日本ニ於テモ少クトモ法律ニ關スル問題ダケハ、サウフ方法ヲ以テヤルコトガ宜イ、サウスナル學識經驗ガアルカト云フコトヲ、當事者ノ居ル所デ、公衆ノ傍聽ヲスル所デ協議ヲスルカラ、運動ヲスル餘地モ何モ無イ、直グソレカラ協議ガ終ルト、元ノ席ニ直ッテ言渡ラスル、ソレカラ次ノ事件ニ掛ル、テキハキト行キマス、我國ノ陪審ニ付テハ、陪審ノ判決ヲ裁判官ダケハ歸宅ガ出來ル、中ニハ前以テ彼ノ事件ノ裁判ニハ斯ウ云フ裁判ヲスルト云フコトガ、時々漏レルコトモ聞キマス、而シテ其結果ハ豫テ漏レタ所ト同様ナ落着ヲ見ルト云フヤウナ

コトヲ聞クコトガ吾々時々アル、甚ダドウモ面白クナイ、ソレ故ニ既ニ陪審ニ於テ歸宅マデ許サヌデアルト云フコトデアレバ、専門家ノ裁判官ガ出來ヌコトハナイ、出來ヌト云フノハ裁判官ノ爲スベキコトヲ努メナイカラデア

ル、サウ云フ事件ヲ口頭辯論ガ終結シテ、是非曲直ノ分ラヌコトハナイ、總テノ事ガ、法廷ニ現ハレタ其新シイ頭デ裁判ヲシナイト、其裁判ヲスル間ニ五十件モ百件モ事件ヲスルノデアリマスカラ、甲ノ事件デ聽イタコトト、乙ノ事件デ聽イタコトトヲ往々間違ヘルコトガアリ、甚シキニ至ッテハ、判決原本ニ事件ニ干與シナイ判事ガ署名ヲシテ居ルコトガ屢アリ、大審院ニ於テモ破毀ニナル、サウ云フヤウナ自分ノ關係シナイ事件ノ判決書ニ署名捺印ヲスルト云フヤウナ間違ガ屢起ルト云フヤウナコトガアッテ、餘リドウモ無責任極タコトデハナイカト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、其法廷デ直グ裁判ヲスレバ、ソナ間違ハナイノデアリマスカラ、特別ノ事情ノ無イ限リハ、即決ノ言渡ヲ以テ原則トスルト云フコトヲ何故ナサラナカッタノデアリマセウカ、是ハ近代ノ文明諸國ガ悉ク行ッテ居ル、日本ノミドモソレヲ行ハヌト云フコトハ、ドウ云フ譯デアルカ、詰リ頭ヲ其事件ダケニ注ギ、他ノ事件ニ干與スルコトヲ許サナイト云フコトハ、間違ヲ少クスルコトデアラウト思ヒマ

スガ、ソレニ付テハドウ云フ御協議ガアッタノデゴザイマスカ、伺ッテ置キタ

○本田政府委員 此民事訴訟法ヲ編成スルニ付テノ協議ノ徑路ニ付キマシテハ、私ハ存ジマセヌカラ、他ノ政府委員カラ御答申上ゲルコトデアラウト考ヘマスガ、只今高木君ノ御話ニナッタ中ニ日本ノ裁判官ガ往々ニシテ他ノ社會ノ勢力ノ爲ニ其公正ヲ疑ハレルヤウナ、言換ヘマスレバ運動ガ裁判所ニ行ハレル疑ガアルカノ如ク御陳述ニナリマシテゴザイマスガ、吾々ノ考デハ、我國ノ裁判所ノ公正ト云フモノハ、非常ニ嚴正ニ行ハレテ居リマシテ、此間ニ何等社會上ノ力ニ依テ左右サレルトハ信ジテ居リマセヌ、又嚴正ニ維持シナケレバナラヌト云フコトハ、申サレルマデモナイノデアリマス、ソレデ判決言渡ヲ二週間内ニ言渡スヤウニト云フ貴族院ノ修正デアリマスガ、現行ハ一週間内デアッタノデアリマスガ、是ハ辯護士諸君其他ノ方カラ、言渡ヲシテモ判決ガ何時マデ經ッテモ、甚シキハ一年經ッテモ出來ナイト云フ事弊ヲ救フ爲ニ、判事ニ重キ——裁判所ニ重キ責任ヲ負セル譯デアアルガ、二週間ナラバ、通常ノ裁判ナラバ原本ハ出來ルデアラウ、出來タラ直グ言渡スコトニナレバ、送達モ隨テ速ニ行ハレルト云フ意見ノ下ニ、斯ウ云フ風ニ修正サレ、而シテ政府モ之ニ同意シタノデアリマス、高木君ノ仰セノ如ク、口頭辯論ヲ聽イテ直グ言渡スコト云フ點ハ、辯論ヲ聽イタ方ニハ洵ニ其方ガ宜イカモ分リマセヌガ、又一面サウ致シマス、是ガ判決ノ正本ナラ正本ノ送達ト云フコトニ付テ、從來非難ヲ受ケテ居ル弊ヲ改メルト云フコトニハ、又一層困難ヲスルダラウト考ヘマス、ドチラガ宜イカト云フコトハ、各一長一短デアッテ、利害ノ伴フ問題デアリマスガ、原本ヲ拵ヘテ而シテ言渡シラスルト云フ方ガ、却テ正確ニモ行キマスルシ、而シテ結局事件ノ進行ガ早ク結末ヲスルト云フ見地ヨリ、此修正ニシタ次第デアリマス、サウ云フコトガ評議ニ上ッタカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、他ノ政府委員カラ申上ゲルデアリマセウガ、只今御引キニナッタ羽田君ノ事件デアルトカ、其他ノ事件デアルトカ云フヤウナモノガ、意外ニ後レタト云フヤウナ事實モアリマセウガ、ソレ等ハ正當ナ理由デ遲滞シタト云フコトヲ承ッテ居リマス、私共ハ裁判ノ公正ガ現在ニ於テモ行ハレテ居ルト思ヒマス、此點ニ付テハ此後モ十分力ヲ盡シテ、社會ノ疑惑ヲ受ケナイコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○高木委員 只今ノ問題デアリマスガ、此問題ハ先頃黒住代議士カラ非常ニ適切ナル御意見ガアリマシタ、其中一部分デアリマス、速記ノ利用デス、我が司法部ハ速記ノ利用ニ付テ如何ナル準備ヲ爲シテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ガアリマシテ、ソレニ對シテ司法大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、如何ニモ黒住君ノ御質問ハ國民ノ要求デアッテ、時代ガ單リ帝國議會バカリデハナイ、ソレヨリハ個人ノ財産權、其他直接ニ利害ノ影響ノアル訴訟事件ニ之ヲ利用シナケレバナラヌト云フコトハ、當然ナコトデアッテ、是ハ司法部ハ特ニ此速記者ノ養成ニ付テハ、相當ナ準備ヲセラレナケレバナラヌト云フコトニ付テ、黒住君カラ懇々政府ニ要求ガゴザイマシタガ、是ハ徹頭徹尾同感デアリマシテ、現在ノ裁判所書記ガ、公判ニ出席スル書記ノ俸給ガドノ位デアリマスカ、之ニ速記ノ出來ル者ニ向ッテハ割増ヲヤル、現在出來ナイ者ハ二年間ナリ三年間ナリノ中ニ、或ル時間ヲ限ッテ必ズ速記ヲ勉強サセル、丁度外務省ヘ行ッテ居ル者デ、大使館ナリ公使館ナリ領事館ナリニ居ル者ハ、其居ル所ノ場所ノ國語ヲ知ラヌ者ハイカヌヤウナ工合デ、必ズ語學ヲ研究シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ現在命ジテ居ルヤウナ工合デ、裁判所ニ於テモ速記ヲ利用スルト云フ以上ハ、現在ノ書記ニ向ッテ之ヲ獎勵シテ、或ル年限ヲ過ギレバ、速記ノ出來ナイ書記ハ使ハヌト云フコトニスル位ニ準備シナケレバナラヌコトハ當然デアアル、又他ノ方面カラモ相當ノ試験ノ方法ニ依テ速記者ヲ利用スル途ヲ開クト云フコトハ、勿論ノ事デ

アラウト思フ、ソレハ一般ノ記錄バカリデハナイ、今申上ゲタ判決ヲ言渡シタ場合ニ於テモ、裁判長ガ公示シテ、丁度豫審判事ガ豫審調書ノ作製ヲ公示スル如クニ、裁判長ガ例ヘバ訴訟費用ハ原告ノ負擔デアル、其理由ハ是レ々々ト云フ風ニ、別ニ立派ニ書イテナクテモ、意味サヘ分レバ宜イノデアリマス、丁度外務省デ言文一致體ヲ使ハレタコトガアルノデスガ、判決ナドハ分レバ宜イカラ、評議ノ結果ヲ速記ヲ利用シテ表白スル、後速記者ガ「タイプライター」カ何カデ以テ言渡書ヲ造ルト云フコトニスレバ、直グ出來ルノデアアル、他ノ國ナドデハ辯護士ガ辯論シタモノヲ、辯護ガ終ルト忽チニシテ其辯論ノ謄本ヲ直グ吳レル位デ、判決所デハナイ、如何ニモ羨マシイデス、元來判決ト云フモノハ、評議ガ濟ンダ後始末デアアル、勝負ケ、是非黑白ト云フコトガ、第一肝要デスカラ、之ニ全力ヲ注ガナケレバナラス、ソレカラ後ノ事ハ、速記ナリ「タイプライター」ナリニ任シテ置ケバ宜イ、丁度議會ニ於テ議員ガ陳述ヲシテ、其陳述ノ後ハ速記課デ以テ取計ヲスル如キコトデ宜イ、サウスレバ迅速ニ事件ガ進行スル、矢張舊式ノ事ヲヤツテ居ッテハ、肝腎ナ事件ノ争點ニ向ッテ之ヲ闡明スルト云フ方ニ全力ヲ注ガナイデ、判決文ノ後始末ニ付テ全力ヲ注グト云フヤウナコトデハ、判事モ無駄ノ事ニ力ヲ入レテ、一番ノ要點ニ向ッテ

全力ヲ注グコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、愚ノ極點デアラウト思フ、何トカハ改善シナケレバナラス、固ヨリ黒住君ノ說ハ判決バカリノ事ニ付テ仰ッシャッタノデハアリマセヌガ、矢張判決書ノ作製ニモ速記ノ利用ヲ及ボスコトガ出來ルノデアリマシテ、サウスレバ速記言渡ヲ書イテ、ドン／＼手續ガ進行シ、隨テ執行ニ著手スルコトガ出來ルデアラウト思フガ、是ハ關聯シタ問題デアリマスカラシテ、長島政府委員カラ此點ニ付テドウ云フ御調査ガアツタカ、又將來ドウ云フ御準備ヲ爲サル御考デアアルカ、判決ト速記ノ利用ト云フコトヲ併セテ伺ッテ置キタイ

○長島政府委員 此案ノ起草者ノ間ノ評議ト致シマシテハ、速記ヲ今全部高木委員ノ申サレタ如キ趣旨ニ於テ採用シヤウト云フ考ハ無カッタノデアリマス、無論速記ノコトハ議論ニ上セマシタノデアリマスカラ、ソレ等ニ付テハ相當考ヘタノデアリマシタガ、最初ノ試ミデアリマスカラ、又現在ノ速記ノ發達ノ程度並ニ速記者ノ供給關係等カラ考ヘマシテ、大體現在ノ程度ガ宜カラウト云フコトニナッタノデアリマス、次ニ判決ト速記ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ餘程根本的ノ問題デアリマシテ、結局原本ノ作製ト云フ、判決ノ原本ト云フモノノ作製ヲ如何ニスルガ宜イカ、詰リ原本ノ作製ニ付テ嚴格ヲ欲スレバ、必ズ此言渡ト云フモノガ後レル、判

決ガ後レル、サウス云フ方面ニ詰リ努力ヲ割カネバナラスト云フコトニナルノデアリマス、原本ト云フモノヲ非常ニ簡單ニスル、若クハ判決ノ原本ト云フモノハ無クテ、唯口デ喋ッタモノヲ速記ニ載セルト云フコトニ致シマスレバ、言渡其他ハ簡略ニナルノデアリマスガ、必ズ正確ヲ期スルト云フコトモ困難デナイカト思ハレル、高木委員ノ言ハレルヤウニ、外國デハ隨分サウス云フ例ガアルヤウデアリマス、而シテ中々甘ク行ッテ居ルヤウデアリマスガ、日本ノ現在ノ狀態ニ於キマシテ、直ニソレヲ採用スルコトガ果シテ適當デアルヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ考慮ヲ要スルコトデナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○熊谷委員 第百八十九條ト百九十條ニ關係シマシテ、此政府提出ノ原案ノ趣旨ハ「判決ノ言渡ハ裁判長主文ヲ朗讀シテ之ヲ爲ス」ト云フ、是ハ判決ノ全部ノ原本ガ出來ナイ前デモ言渡スルノデアリマスカ、何カ御趣意ガアッタノデアリマセウカ、此點ハドウデアッタノデアリマセウカ

○長島政府委員 其通りデアリマス

○熊谷委員 貴族院ノ修正ニ依リマシテ、判決原本ガ出來ヌケレバ言渡ガ出來ナイ、斯ウ貴族院デ修正サレタ點ニ對シテハ、政府ハ御同意ニナッタ譯デアリマスカ

○長島政府委員 同意ヲ致シマシタ

○熊谷委員 ソコデ御聞キシタイノハ、是迄ノ實際ノ狀態ヲ見マスルト、此判決ガ非常ニ遅レル、原本ガ出來ナイデ主文ノ判決ノ言渡ガ出來ナイトナルト、是ハ非常ナコトニナリハセヌカト思ヒマスルノハ、實際事實ニ於テ或判決ノ如キハ、三箇月モ四箇月モ經ッテモ原本ガ出來テ居ラスト云フコトガアル、又他面カラ見レバ其弊ヲ救フガ爲ニ、此條文ガ必要カモ知レヌケレドモ、實際ニ於テハ果シテ其通り二週間内ニ出來ルモノカドウカ、貴族院ノ修正ノ通りニシテモ二週間、又非常ナ場合ニ於テハ特別ニ延シタコトガアリマシテモ、原則ガ却テ何時デモ例外ニナル、例外ガ却テ原則ニナルコトガアリハシマイカ、其點ニ付テハ當局ハ御心配ガナイデアリマセウカドウデアリマセウカ

〔齋長委員長委員長席ヲ退キ磯部理事代リ着席〕

○長島政府委員 是ハ御尤ナ御懸念デアリマシテ、一體其悉皆原本ガ出來テ、文章マデモ立派ニ出來テシマハナケレバ判決ノ言渡ガ出來ナイ、ソレマデ判決ノ運命ヲ當事者ガ知ルコトガ出來ナイト云フノハ宜イノデアアルカ、或ハ腹案ガ出來タ以上ハ文章ヲ練ッタリ何カスルヤウナコトヲ俟タナイデ、結果ヲ聞イタ方ガ宜イノデアアルカト云フノハ、是ハ非常ナ問題ナノデアリマス、高木委員ノ仰セラレマシタ通り、外國ナドデハ成ルタケ早ク判決ノ結果ヲ知ラ

セルト云フヤウナコトニナッテ居リマシテ、何方ガ宜イノカト云フコトハ、是ハ私一人トシテハ非常ナ問題ダと思フノデアリマス、併ナガラ現在ニ於キマシテ動トモスルト判決ノ原本ノ作成ガ遅レテ居ルモノガアルノデアリマス、是モ實際取調ノ結果ニ依リマス、大變ニ遅レテ居ルモノハ非常ニ僅ナ數デアリマシテ、是ハモウ一件カ二件シカナイノデアリマスガ、併シ此一件カ二件アリマシテモ、是ハ宜クナイコトデアリマス、及是ガ非常ニ目立ツノデアリマス、旁ミ致シマシテ詰リ何方ガ宜イカト云フ結局問題ニナルノデアリマス、言葉ノ例ハ拙イカモ知レマセヌガ、背水ノ陣ヲ布キマシテ、原本ガ出來ルマデハ言渡サナイト云フコトデ、一ツ何處マデモ原本ノ作成ヲ急イデ成ルタケヤルヤウニスルガ宜イカ、或ハ事實不能ヲ強ユルト云フヤウナ結果ニナルコトヲ悞レテ、主文ノ朗讀デ判決ヲ言渡スノガ宜イカト云フコトハ、是ハ非常ナムツカシイ問題ダと思ヒマスガ、併シ大體此方ガ宜イノデハナイカト思ヒマシテ、政府ノ方デハ同意ヲ致シタ譯デアリマス、是ガ果シテ十分ニ勵行ガ出來ルカドウカト云フコトハ、前ニモ一寸私カラ御諒解ヲ得テ置キマシタヤウニ、ソレニハ色ミナ事情ガアルコトデアリマスカラ、ドウゾ御諒察ヲ願ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○熊谷委員 サウシマスルト此判決言渡ニ付キマシテハ、是迄政府ガ適當ト認メテ委員會ノ決定セラレタ所ノ主義ト云フモノヲ變更セラレマシテ、貴族院ノ委員會ノ主義ニ從ッタサウ見デ宜シウゴザイマスネ

○長島政府委員 其通リデアリマス

○黒住委員 屢諸君カラ質問モアリ、政府ノ答辯モアッタコトデアリマスガ、今一應閣席判決ヲ廢シテ其代リニ百三十八條ヲ置カレタ點ニ付テ、伺ッテ置キタイト思ヒマス、之ニ對シテハ殆ド私ガ聞ク範圍ニ於テハ、總テ閣席判決ヲ廢シタト云フノガ惡イト云フノデス

ガ、長島政府委員カラ此閣席判決ヲ廢シタ代リニ此百三十八條ヲ拵ヘタ、此關係ヲ比較シテ、利害得失ヲ總テ何人ニモ理解ノ行クヤウニ明晰ニシテ、且ツ詳細ナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 ドウモ是ハ中ミ數學的ノ問題デアリマセヌデ、結局ヤッテ見テドウナルカト云フ見込ノ話デアアルノデ、甚ダ私トシテモ明快ニシテ皆様方ニ十分御了解ヲ得ルヤウナ説明ガ出來ルカドウカト云フコトヲ、自ラモ危ンデ居ル次第デアリマス、結局其問題ハ此閣席判決ノ中デ故障ノ申立ノアル分ト申立ノナイ分トニ付テソレヲ分ケテ見ルノガ宜イト思フノデアリマスガ、是ハ皆様方モ御承知ノ通りニ、實際此訴訟ノ衝ニ當ッテ居ル者カラ見マス

云フト、閣席判決ト云フモノニハ非常ニ故障ガ多クテ、或意味ニ於テ閣席判決ト云フモノハ事件引延シノ策ニ用ヒラレテ居ルト云フコトヲ吾ミハ非常ニ直感スル者デアリマス、表ニ現レマシタ所ニハ故障ノ申立ノナイ判決ガ割合ニ多イノデアリマス、併ナガラ是ハ或ハ皆様ト吾ミノ感ジガ違ヒマスカ知レマセヌガ、少クトモ吾ミノ方ノ感ジト致シマシテハ、吾ミノ頭ノ感ジト云フモノハ閣席判決ニハ非常ニ故障ガ多イト云フ感ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ故障ト云フモノニ依テ閣席判決ト云フモノハ寧ろ訴訟ヲ遅延セシムルノ具ニナッテ居ルモノダト云フ風ニ、吾ミノ頭ニ直感スルモノデアリマス、表ニ於キマシテハ故障ノ申立ノナイ閣席判決ガ相當ニ多イノデアリマス、此直感ト、ソレカラ表ニ現レタ數ト云フモノハドウシテ違フカト云フコトヲ考ヘテ見マス

ト云フモノハ、多クハ極ク簡單ナモノデアリマス、事案ノ筋ガ實ニ簡單デアリマス、當事者間ニ於テ法律上、事實上ニ於テ殆ド爭ノナイ問題デアリマス、唯金ガ無イトカ、或ハ兎ニ角訴訟ノ成ルマデ引張ッテヤル、閣席判決ガアッタ以上ハ放ッテ置クト、モウソレ以上ニ故障ノ申立マデヲスルモノデナイト云フモノバカリデアリマシテ、事案自體カラ申シマシテモ、又法律竝ニ事實ノ點カラ見テモ、極ク簡單ナモノノミデアリマス、ソ

コデ吾ミノ頭ニハ此閣席判決ニハ故障ガナクテモアッテモ——大シテ是ガ事柄ノ上ニドウト云フコトヲ感ジナイヤウナモノニ付テ故障ガナイノデアリマス、其結果ト云フモノガ吾ミノ頭ニハ常ニ直感ニハ閣席判決ト云フモノニ非常ニ故障ガ多イ、サウシテ閣席判決ハ徒ニ事件ヲ延バス爲ニ用ヒラレテ居ルノデアルト云フコトヲ常ニ直感シテ居ルスウ云フ結果ニナルノデアリマス、ソコデ閣席判決ノ故障ノナイト云フコトハ、表ノ上ニハ相當多イノデアリマスケレドモ、是等ノ事件ハ殆ド簡單ナモノデアリマシテ、數ハ多クテモ其量ニ於キマシテハ——其質ニ於キマシテハ甚ダ——甚ダト申シテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ多クナイト見ネバナラナイノデアリマス、而シテ尙ホ表ノ上ニ於キマシテ故障ノ數ガ割合ニ少イト云フノハ、是ハ私ハ一寸調査致シテ居リマセヌガ、今聽キマス

ト表ノ様式ノ關係カラシテ、表ニ幾ラカ數字ノ錯誤ガアルト云フコトモ多少アルヤウデアリマス、統計ノ様式ガ惡イト申シマスカ他ノ様式ノ統計ガ出來テ居リマスガ爲ニ、表ニ現レタル故障ノナイト云フ數ガ稍正確ヲ缺イテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ直感ガ或ハ正シイモノデアアルカ知レナイノデアリマスガ、今迄ハ表ヲ正シイモノトシテ申上ゲタノデアリマス、ソコデ故障ノナイ部分ニ付テ申上ゲマスレバ、極メテ簡

單デアリマスカラ、有無ニ付テハ闕席判決ヲ廢止致シマシテモソレ程ノ實績ハ擧ラヌ、勿論印刷ニ刷リマシタヤウニ——今迄ノ闕席判決ニアリマスヤウニ、印刷デ刷ッタモノニ書クヤウナコトハ出來ナイカ知レマセヌガ、極メテ簡單ニ行クモノト信ジテ居リマス、而シテ吾々ノ直感ニ依リマシテ甚ダ難儀ダト考ヘマス所ノ、所謂故障ノ申立ガアリマス分ニ付テハ、是ハ闕席判決ヲ廢止致シマシテ、百三十八條等ノ規定ニ依テ判決ヲスル、徒ニ故障ニ依テ事案ト云フモノヲ延バサセルト云フコトヲシナイデ、相當ノ所デ結末ヲ着ケルト云フ風ニシタ方ガ、事案ノ進歩上良クハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、ドウモ何ト申シテ宜イノデスカ、斯ウ云フ事柄ハ双方ニ矢張一長一短ノアル議論デアリマシテ、數字上ノ議論ノヤウニハツキリ明確ニ致スコトハ出來ナイノデアリマスガ、大體吾々ハ實行上ニ於テハサウ差支ナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○黒住委員 只今ノ政府委員ノ御説明ヲ伺フト、裁判所ノ方カラ見テ闕席者ハ徒ニ引延スノデアアル、此直感ガ主トシテ闕席判決廢止ノ理由ノ一ツノヤウニ考ヘラレマス、一面カラ左様ナ感ジヲ持タレト云フコトモ必シモ無理カラヌコトト考ヘマスガ、立法ニ際シテ同時ニ人ノ羞恥心ト云フモノニモ思及ブ必要ガアラウト思フ、争ノナイ、争フ事ノ出來ヌ、之ヲ辯護士ヲ頼ンダリ又自ラ法廷ニ出テ屁理窟ヲ述ベルコトハ忍ビヌコトデアリマスカラ、契約ヲ履行シタイノデアアルケレドモ、餘儀ナキ事情ノ爲ニ履行ガ爲シ能ハヌ爲ニ意ツテ居ルト云ツタヤウニナル、斯様ナコトハ即チ出テ行カヌコトデモ、惡意デモ何デモナイ、是ハ眞ニ人ノ美點デアリマス、争事ヲ欲セヌデ此裁判ニ服スルト云フノ一面ニハアルト私ハ考ヘマス、ソレカラ見地ヲ異ニシテ、懈怠ト云フモノニ對スル責任追究ノ頭カラ見テモ宜イト思ヒマス、先程御話ヲ伺フト唯半面カラ故障ヲスルノヲ見ルト引張ル、徒ニ遲延サセルト云フ一ツノ感ガアル、直感ト仰シヤル、此直感ハ所謂裁判所ノ方カラ見た主觀のニ言ヘバ偏見デハナカラウカト考ヘマスガ、私ガ只今申上ゲマシタ風ニモ御考慮ニナッタノデアリマスガ、重ネテ伺ヒマシ

○長島政府委員 或ハ私ノ言葉ノ言現シ方ガ惡カッタカ知レマヌガ、當事者ノ動機ガ訴訟ヲ引張ル積リデ常ニヤツテ居ルト云フ意味デ申上ゲタノデハアリマセヌ、或ハサウ云フ風ニ解サレルヤウニ言葉ガ惡カッタカ知レマセヌガ、結果ニ於テハ結局闕席判決ト云フコトハ、懈怠者ノ制裁ト云フコトニハナラナイデ、唯寧ロ徒ニ訴訟ヲ遲延サルコトニナリハシナイカ、故障ヲ申立テレバ判決前ノ程度ニ復シテシマウノデア

アルカラ、結局訴訟ヲ延スト云フ結果ニナルノデアアル、ソレハ其引延シノ用ニ供スルコトモアリマシ、又供シナイ場合モアリマシガ、結局遅レルト云フ結果ニナルノデハナイカト云フ風ニ申上ゲタ次第デアリマス、尙ホ此訴訟ニナリマシタトキニ出テ來ルノハ工合ガ惡イト云フ羞恥心カラ、出テ來ナイト云フコトモアリマシガ、恐ラクハ是等ノ事ニ付キマシテハ、故障ノ申立ヲ致サヌコトニナリマシテ、本案等ニ於テモ簡單ニ片付クノデハナイカ、サウ云フ事案ガ多イヤウニ考ヘルノデアリマス、尙ホ私ノ言葉ノコトデアリマスガ、直感ト申上ゲタノハ引延スト云フコトヲ直感スルト云フ意味デアリマセヌ、故障ガ非常ニ多イヤウニ感ゼラレルノハ、ソレハ故障ハ少ナイガ表ノ上デハ多イヤウニナツテ居ルノガ、實際ハ故障ガ少ナイヤウニ感ゼラレル、ソレハ直感デアアル、表ト違ッタ直感ガアル、ソレハ大シタ面倒ノナイヤウナ輕イ事件ニ付テ故障ガナクシテ、ムツカシイ事件ニ故障ガ多イト云フヤウナ風ニ吾々ノ頭ニ映ズルト云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマス

○黒住委員 私ハ此辯護士會ノ調べタ統計ニ依テ見タデアリマスガ闕席判決ニ對シテ故障ヲ申立テタル事件ノ數ト、又闕席判決ガ確定シタル事實ノ割合ハ、故障ヲ申立ッタ方ガ五千五百件デ、闕席判決ガ確定シタノハ四千五百件、非常ニ此闕席判決ノ數ガ多クナツテ居ルヤウニ考ヘマス、先程ノ御答辯ノ中ニハ統計ノ様式ニ錯誤ガアルト云フ御話デアリマス、數字ヲ見テ直ニ此儘解釋スルコトハ許サナイ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御答辯ガアリマシタガ、此様式ガ何所ガ違ッタ居リマスカ、實際ハドウナリマスガ、之ヲ一ツ伺ヒマス

○長島政府委員 様式ノコトハ後刻申上ゲマスガ、一寸委シイコトハ今申上ゲ兼ルノデアリマス、ソレカラ其他ノ點ハ何デゴザイマシタカ、様式ノコトデアリマスガ

○黒住委員 辯護士會ノ引用シテ居ル所ノ統計ニ依タンデアリマス、故障ヲ申立テタモノガ五千五百件、闕席判決ノ確定シタノガ四千五百件、斯ウ云フ割合ニナツテ居リマス、非常ニ此闕席判決ノ確定ノ數ノ割合ガ多イ、訴訟ヲ遲延セシメルコトヲ慮ツテ、闕席判決ヲ廢セラレタ趣旨ヲ裏切ツテ居ルヤウナ數字ガ現レテ居ル、然ルニ政府委員ハ先程此様式ニ錯誤ガアル、此儘受入レラレヌト云フ御答辯ガアリマシタカラ伺ヒマシタ

○長島政府委員 様式ニモ多少疑ハアリマスガ、是ハ後ニ申上ゲルコトト致シテ、假ニ其統計ヲ是認シテモ、曩ニ申上ゲタ理由デ闕席判決ヲシテモ差支ナイト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス

○熊谷委員 第百九十二條デアリマス

ガ、貴族院ノ修正ニ依テ見ルト「判決ハ言渡後遲滞ナク」ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハドウ云フ意味デアリマスカ言渡ガ濟ンデシマッタモノナラバ其原本ハモウ用ガナイノデアアルカラ、直ニ裁判所書記ニ交付スト云フ風ニ訂正サルベキデアアルガ、其「遲滞ナク」ト變ヘラレタノニハ、ドウ云フ意味ガアリマスカ、其點ニ付テ政府委員ノ所見ヲ承リタイ

○長島政府委員 遲滞ナクト云フコトモ直ニト云フコトモ大シタ違ヒハナイ積リデアリマス

○熊谷委員 第百九十四條デアリマスガ、此但書ヲ貴族院デハ削除セラレテ、政府モ之ニ御同意ナサッタノハドウ云フ譯デゴザイマスカ、ソレヲ承リタイ

○長島政府委員 元ノ案ノ趣旨ハ、判決ノ主文又ハ理由ニ影響ヲ及ボスヤウナ場合デナケレバ更正決定ナドハシナイト云フコトデアッタノデアリマス、所ガ主文又ハ理由ニ影響ヲ及ボスヤウナモノデモ、相當重大ナモノデアアルナラバ、或ハ執行ノ際ナドニ疑義ヲ生ズルト困ルカラ、更正決定ヲサセタラ宜カラウト云フコトガ辯護士會カラ出テ居リマシタ

「磯部委員長代理 委員長席ヲ退キ 齋藤委員長長復席」

其點ハ相當大問題デアルノデ、十分考ヘマシテソレニ同意致シタ譯デアリマス

○熊谷委員 成程辯護士會ニ於テハアノ問題ハサウデアッテモ、此判決ノ主文若クハ理由ニ影響ヲ及ボサナイモノヲ之ヲ更正シテドウ云ウ利益ガアリマスカ、一寸ソレハ考ヘラレナイガ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○長島政府委員 御承知ノ通り主文ト理由トノ關係デアリマスガ、結局主文ハ理由ト相俟テ内容ガ決マルノデアリマス、所ガ斯ウ直スト、是ガ主文ニ影響スルノデアアルカ、理由ニ影響スルノデアアルカト云フコトハ、非常ニ分リ易イヤウナ事デ、實際ハ中ミ分リ惡イコトデアリマスカラ、サウ云フ分リ惡イ事ニ依テ更正決定ヲ拒マレテハ困ルト云フヤウナ疑義ニ付テモ問題デアラウト思フノデアリマス、當事者カラ見レバマルデ不必要ナコトヲ、判決ノ決ノ字ハ「シ」トカ「シ」ダトカ、或ハ天爾遠波ガ多ク少クカッタトカ云フ詰ラナイコトナラバ更正決定ハ求メテ來ナイデアラウ、ソレナラバ寧ロ但書ハ削ッテ更正決定ノ申出ガアッタラ直スト云フコトニ殊ニ是ハ裁判所ノ方ノ間違ヒデアリマスカラ、多少面倒デモ直シタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ修正ニ同意致シタ次第デアリマス

○熊谷委員 政府委員ノ御見込ニ依リマス、總テ誤謬ガアッタ時ニハ直ス御意見デアルト承ッテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○長島政府委員 職權ノ場合ニ寧ロ判決ノ主文又ハ理由ニ影響ガナケレバ直シマセヌデアリマセウ、併シ申出ガアリマスレバ常ニ直スト云フコトニナルノデアリマス

○磯部委員 二百四條ノ「決定及命令ハ相當ト認ムル」ノ「相當ト認ムル」ト云フノハ何カ具體的ニ決メタ方ガ宜クハナイデセウカ、或ハ言渡トカ、送達トカ、是ハ何處カニアリマシタガ、其方ガ分リ易クテ後デ疑義ヲ殘サナクテ宜イヤウニ思ヒマスガ、當局ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○長島政府委員 送達若クハ言渡ニ依リマセヌデモ、書留郵便ナドデアルノ場合ニ依テハ宜イト思フノデアリマス、ソコデ相當ト認ムル方法ト云フノハドンナコトヲヤルノデアアルカ、洵ニ不安心デアルト云フノガ大體辯護士會ノ御意見ノ趣旨ト考ヘタノデアリマスカ、ソコデ段々ト貴族院デモ審議ガアリマシテ、御承知ノ通り第二項ヲ加ヘマシテ、告知ノ方法、場所及年月日等ヲ裁判所書記ハ裁判ノ原本ニ記載セシメテ、其方法ヲ確實ニスルト云フコトニシタナラバソレデ宜イデヤナイカト云フノデ、貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シタノデゴザイマス

○齋藤委員長 御質問ハゴザイマセスカ、ソレデハ第五節訴訟手續ノ中斷及中止、之ニ就テ御質問ヲ願ヒマス

○磯部委員 二百十六條ノ「訴訟手續ノ受繼ハ相手方ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得」ハドウシテモ申立ツル事ノ方ガ宜イト思フ、幾ラ手續ノ受繼ト言ッテモ相手方ガ出來ル譯ハナイノデスカラ、申立テルヨリ外ナイノデスカ……

○長島政府委員 受繼ト云フ言葉ヲドウ云フ風ニ書キマスカ、用語ノコトデアリマスカラ何レ小委員會デ考ヘタイト思ヒマスガ、受繼ヲ相手方ガスルト云フコトハ確カ破産法ニモアルノデス、併シソレハ又小委員會デ能ク御相談願フコトニ致シマス

○齋藤委員長 デウデスカ、御質問ガナケレバ次ニ移リマセウカ——第二編、第一審ノ訴訟手續、第一章、地方裁判所ノ訴訟手續、第一節、訴、之ニ就テ御質問ヲ願ヒマス

○平川委員 第二百三十二條ノ請求ノ原因ヲ變更スルコトガ出來ル場合ハ、無論管轄ニ變更ヲ來サナイ場合ト思ヒマスガ、ソレハサウデゴザイマセウカ、奧地利ノ民事訴訟法ノ第二百三十五條ニハ、管轄ニ變更ヲ來サザル場合ト云フヤウナ規定ガアリマスガ、管轄ニ變更ヲ來ス場合ハ、是ハ請求ノ原因ヲ變更スルコトガ出來スト思ヒマスガ……

○長島政府委員 是ハ固ヨリサウデゴザイマスガ、併シ相手方ニ於テ默ッテ居ツテ管轄ガ變ッテシマヘバ出來マセスカ、サウデナイ限リハ宜イト思ヒマス

○熊谷委員 二百三十八條ノ六月ト云フノガ、貴族院ノ修正デハ三月ニナッテ

居リマス、是ハ矢張原案ノ方ガ宜イノ
デハナイカト思ヒマスガ、如何デアリ
マセウカ

○長島政府委員 是ハ他ニモアルコト
デゴザイマスガ 期間ノ問題ニナルト
ドウモ目分量ノ問題デアリマシテ、一
體何方ガ宜イノカ分リマセヌガ、大體
ニ於テ三月位ニシテ更ニ指定ノ申立ヲ
シテ宜カラウト思ヒマス

○禱委員 二百三十九條ニ反訴ノ規定
ガアリマスガ、現行法ニ依ルト確カ反
訴ニ對スル反訴ト云フコトハ許サナイ
ト云フ規定カアツタト思ヒマスガ、之ニ
ハサウ云フ制限ヲシナクテモ宜イト云
フ政府ノ方デハ御考デアリマスカ

○長島政府委員 反訴ニ對シテハ反訴
ヲ許サナイト云フ趣旨デアリマスガ、
文字トシテ果シテサウ云フ……

○禱委員 案ダケデソレガ見エマスカ
○長島政府委員 二百三十九條ノ終ノ
方ニ「本訴ノ目的タル請求又ハ防禦ノ
方法ト牽連スルトキニ限ル」トアリマシ
テ、先ヅ是デ本訴牽連關係ト云フコト
ヲ頭ニ置イテ居ルノデ、大體此邊カラ
分ルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ
居リマスガ、尙ホ此點ニ付キマシテハ
何方ノ趣旨デアリマシタカ、一寸ト考
ヘタ上デ小委員會ニ於テ御答致シタイ
ト思ヒマス

「進行」ト呼フ者アリ」
○齋藤委員長 第二節辯論ノ準備、之
ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○磯部委員 二百四十三條ニ「相手方
カ準備ヲ爲スニ必要ナル期間」トアリ
マスガ、必要ナル、相當ナル、相應ナル
ト云フコトガ何時デモ議論ニナリマス
ガ、主觀的カ客觀的カ、裁判所ガ見テ必
要デアルカ、當事者ガ見テ必要デアル
カ、誰ガ決メルノデアアルカ、此條文ダケ
デハドウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザ
イマセウカ

○長島政府委員 結局是ハ爭ニナリマ
スレバ裁判所ニ於ケル認定ノ問題ニナ
ルノデアラウト思ヒマスガ、御承知ノ
如ク準備書面ニ記載セザル事項ト云フ
モノハ相手方ガ出頭シテ居ラナケレバ
陳述スルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、其場合ニ於テ必要ナル期間ガ爭ニ
ナリマスレバ、裁判所ガ結局判斷スル
コトニナルト思ヒマス、期間ヲ法律ニ
規定スルト云フコトモ困難デアアルノデ
斯様ニ致シタノデアリマス

「進行」ト呼ブ者アリ」

○齋藤委員長 次ニ第三節證據、第一
款總則、之ニ就テ御質問ヲ願ヒマス

○磯部委員 二百五十九條ノ「當事者
ノ申出テタル證據ニシテ裁判所ニ於テ
不必要ト認ムルモノハ之ヲ取調フルコ
トヲ要セス」、是ハ現行法ニモ確カナ
カッタト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ斯ウ
云フ規定ヲ御置キニナル必要ガアリマ
スカ、當事者ノ申出タル證據ハ裁判所
ハ取調ベルモノハ取調ベルシ、不必要
ト思ッタモノハ調ベルヤウナ顔ヲシテ

居ッテモ調ベヌデモ宜イト云フヤウナ
コトニモナリマスノデ、取調ベヌデモ
宜イト裁判所ガ判斷シタ證據調ハ、ソ
レハ取調ベナイト云フコトヲ言渡シタ
方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、結局取調
ベルノデアアラウカ、取調ベヌノデアラ
ウカト云フコトヲ當事者ヲシテ迷ハシ
テ置クト云フコトハ如何デアアラウカト
思ヒマスガ、此規定ハ大變時代ニ副ハ
ヌヤウナ氣ガスルノデアリマスガ、何
カ特別ニ御考ガゴザイマスカ

○長島政府委員 現行法ニハ證據調ノ
限度ハ規定ガアリマセヌガ、裁判所ガ
定メルトカ何トカ致シマシテ、之ニ就
テモ實ハ御承知ノ通り現在ニ於テモ解
釋ガ二途ニ出テ居リマシテ、限度ハ裁
判所ガ定メルダケデ、調ベナイモノニ
付テ特ニ却下ノ規定ハシテ居ラナイノ
デ、其儘聞流シテモ構ハヌト云フ解釋
モアルノデアリマス、是ハ御承知ノ通
リデアリマスガ、ソレカラ實際ノ扱
シテハ其證據ハ留保シテ置ク、今調ベ
ルカ調ベナイカト云フコトガ決ラナイ
デ留保シテ置クト云フヤウナコトヲ、
實際ニ於テハヤッテ居ルノデアリマス、
其時ニ直グ調ベナイト調ベルト云フコ
トヲ決メラレナイヤウナ場合モアリマ
シテ、留保スルヤウナコトヲ現行法ノ
下ニ於テモヤッテ居ルノデアリマス、實
際ト致シマシテハ恐ラク此證據調ノ申
立ガアリマシタ時ニ調ベルトカ調ベヌ
トカ云フコトヲ言フデアリマセウガ、

是ガ嚴格ナル裁判ト云フコトニ依ラヌ
デモ宜イノデハナイカ、唯簡單ニ聞イ
テ居レバ宜イノデハナイカ、ソレガ寧
ロ訴訟手續ノ簡易ト云フヤウナカラ
宜イノデハナイカト斯様ニ致シタノデ
アリマスガ、現行法ノ解釋ト致シマシ
テモ、斯ウ云フコトニ或ハナルノデハ
ナイカ、是ハ非常ニ疑ノアルコトデア
リマスガ、サウ云フ風……

○磯部委員 私ハ現行法中ノ規定ノ解
釋ハドウカ存ジマセヌガ、日本全國ノ
裁判所ガ採用スル、若クハ却下ノ決定
シテ居ナイト思ヒマス、實際ニ於テハ
現行法ノ規定竝實際ニ於テスラモ裁判
所ガ留保シテ置イタ必要ナ證人ヲ、煩
瑣ノ時期ニ於テハ忘レテシマフコトガ
アル、サウシテ當事者カラアノ留保シ
タ證人ハドウシタノデアアルカ、ア、ア
レハマダ決定シナイ、其中ニ決定スル
ト云フコトガ屢アル、ソレヲ本條ノ規
定ニ必要ナシト認メルモノハ、之ヲ取
調ベルコトヲ要セズト云フ逃路ヲ認メ
テ忘レテシマツテ、當事者カラ聞カレテ
アレハ取調ベヌ積リデアッタト云フヤ
ウナコトヲ言ツテ、當面ノ責任ヲ回避シ
ヤウト云フヤウナコトガ何時モ出テ來
ルト思ヒマス、是ハ裁判所ガ認メテ不
必要ナリトスルモノハ確信ガアレバ決
定シテ言渡シテ、是ハ調ベマセヌ、是
ハ調ベマス、是ハ留保シマススト云フコ
トヲ明ニ言ツテ置ケバ、決審ノ間際ニナ

ツテアレハ留保シテアルデハナイカト云フテ裁判所ヲ責メルコトガアル、忘レテソレ切リニナッテ當事者ノ方デ責メタ場合ニハ法律ノ規定ニ依テ取調ベル積リデアッテモ、大變時期ガ遅レテ是ハ工合ガ惡イト思フト、イヤ初カラ取調ベヌ積リデアッタト云フテ逃ゲラレル虞ガアルト思ヒマスガ、ドウモ此規定ハ弊害ガアルヤウニ思ヒマス

○長島政府委員 ドウモ決定ヲスルコトト致シマシテモ、忘レル場合デアルト忘レテシマフダラウト思ヒマスガ、結局當事者ノ方カラ——忘レルト云フコトハ不都合ナコトデアリマスガ、萬一忘レタヤウナ場合ニハ御催促下サレバ、決審ヲ致サント致シマシテモ必ズ取調ベルコトト思ヒマス、要ハ一々斯ソ云フ彈劾的ノコトニ付キマシテ裁判ト云フヤウナモノヲスルコトヲ成ベクシナイヤウニシテ、單純ニ訴狀ニ依テ進ンデ行キタイト云フ趣旨デアリマス

○平川委員 二百六十五條ノ規定デゴザイマスガ、裁判外ニ於テ證據調ヲスル場合ニ、部員ニ命ジ、若クハ他ノ區裁判所ニ囑託スル場合ニ、現行法ノ二百八十條ノ規定ガナイ、即チ受命判事、受託判事ガ證據調ノ期日ヲ定メル、其期日場所等ヲ當事者ニ通知スル、此二百八十條ノ規定ガナイ爲ニ、此改正法案ニ依テハ受命判事、若クハ受託判事ガ當事者ニ其期日ヲ通知シナイコトニナリ

マス、是ハ甚ダ不都合ノヤウニ思ヒマス、ソレカラ今一ツハ現行法ノ二百八十三條ノ規定モナイヤウニ思フノデアリマス、即チ受命判事、受託判事ノ面前デ證據調ノ際爭ヲ生ジタ場合、其爭ハ誰ガ之ヲ裁判スルノデアルカ、其場合ニ於テ現行法ニ於テハ是ハ受託判事、受命判事ガ裁判スル權限ガナイ場合ニ於テハ受託裁判所ガ之ヲアルト云フ規定ガ改正法案ニナイ、斯ウ云フ場合ニドウナリマスカ

○森田政府委員 此二百六十五條ノ受命判事、受託判事ガ證據調ヲスル時ハ、矢張當事者ヲ呼出スコトニナル趣旨デアリマス、ソレハ百五十二條ノ「受命判事又ハ受託判事ノ審問ノ期日ハ其ノ判事之ヲ定ム」、百五十四條ノ「期日ニ於ケル呼出ハ呼出狀ヲ送達シテ之ヲ爲ス」是デ通知ヲスルヤウニ考ヘマス、ソレカラ……

○長島政府委員 只今ノ條文ハ確力之ニ相當スル條文ガアッタト思ヒマスガ、今ハッキリ見付カリマセヌガ、若シ間違ヒマシタラ後デ訂正致シマスガ、是ハ證據調ヲ續行スルコトガ出來ナイヤウナ爭ガ起リマシタ時ニハ、受命判事、受託判事ハ兎ニ角裁判ヲスルノデアリマス、而シテ若シソレニ不服ガアリマスレバ受託裁判所ニ異議ノ申立ガ出來ル、即チ本案ノ四百十二條ノ規定ガ適用サレルコトニナルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○平川委員 サウスルト現行法ノ二百八十三條ノ規定ハ必要ガナイト云フコトニナルノデアリマスカ

○平川委員 先程ノ政府委員ノ御答辯ノヤウナ趣意ナラバ、特ニ法人ニ限ル必要ハナイト思フ、其點ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 結局サウスコトニナルノデアリマス、ハッキリ代ルノデアアリマセヌガ、先ヅ此規定ヲ廢メタ結果四百十二條補ヒガ出來ルコトニナルノデアリマス

○長島政府委員 大體法人ニ限リマシタノハ今申シマシタ通り、設備等ノ關係デアリマス、元來本案ガ出來マシタノハ其起リガ大學カ何カニ物ノ調査ヲ頼ムヤウナ時ニ、或一人ノ人間ヲ呼出シテ鑑定ヲサセルトカ、何トカト云フノハ穩當デナイデナイカ、大學全體ノ設備ヲ使フノデアアル、今迄大學ニ於テ各種ノ人ガ調査シタ結果ヲ利用スルト云フ場合ガ多イノデナイカ、サウスルト個人ト云フモノヲ鑑定人トシテ選ブノデナクシテ、其設備ニ依テ得タ結果ヲ求メルト云フコトニナル、寧ロ法人、其他ノ團體、若クハ國家ノ機關ト云フヤウナモノニ對スル時ニ、當該ノ特殊ノ人、役人デアルトカ、其係員等ニ鑑定ヲ求メルヨリハ、寧ロ其設備全體ヲ應用シタ結果ヲ求メル方ガ穩當デナイカ、ソレガ實際的デナイカト云フコトカラ、斯ウ云フ規定ガ設ケラレタノデアリマシテ、隨テ此場合一私人ヲ入レルト云フヤウナコトハ實ハ立案ノ趣旨デアリマス

○長島政府委員 是ハ此前ニモ申上ゲタコトデアリマシテ、詰リ一個人デモ非常ニ設備等ノ大キナ所謂試驗所デアルトカ、工場、其他ノモノヲ持ッテ居ル者モアリマス、法人デモ如何ハシイモノモアリマスガ、先ヅ大體ニ於テ法人ノ方ハ資力モ大デアアル、設備モ完全デアアル、人モ澤山便ッテ居ルト云フヤウナモノガアルカラ、斯ウ云フモノニ調査ノ囑託デスルト云フコトガ實際ニ於テ私人ニ囑託スルヨリ當ヲ得タル場合ガ多イダラウ、前ニモ申シマシタヤウニ官立大學ニ囑託ガ出來テ、私立大學ニ囑託ガ出來ナイト云フノハオカシイデナイカト云フヤウナコトモアリマシタノデ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリ

○平川委員 然ラバ政府委員ノ言ハレル通りノコトヲ明ニスル必要ガアルト思ヒマスガ、ドウデスカ

○横山委員 關聯シテ一寸申上ゲマス

ガ、凡ソ法文ノ解釋ハ立法者ノ意思ヲ尊重スルノデアリマスケレドモ、先ヅ文理的ニ解釋ヲシテ疑ノアル時ニハ、色ミノ材料ヲ齎シ來ッテ解釋致シマスケレドモ、單ニ法人ト書イテアッテ、法人ト云フモノガ日本ノ法制ノ上ニハ自ラ一定ノ意義ヲ成シテ居ッテ、其間ニハ一ノ營利會社デアル法人モ亦之ヲ含ムト云フ事ハ、當然ノ歸結デアルノデアリマス、若シ果シテ今政府委員ノ御説明ノ如クデアルナラバ、先以テ文字ノ上ニ其趣旨ヲ御現ハシニナルト云フコトガ適當デハアリマセヌカ、法文ノ解釋ハ先ヅ文字ノ文理ヲ傳ウテ、サウシテ精神解釋ニ入ルノデアリマスカラ、今仰シヤルガ如キ趣意デアッタナラバ、必ズヤ其間ニ非常ナル疑ヲ持チ來スコトニナルト思ヒマス、ソレダケノ御用意ハアッテ然ルベキモノト思ヒマスガ、如何デスカ

○長島政府委員 私ノ説明ガ少シ足りナカッタカモ知レマセヌガ、私ハドウ云フ譯デ一人ヲ此處ニ入レナカッタカト云フ理由ヲ説明致シマスガ爲ニ、此案ヲ作ルニ至リマシタ經過ヲ述ベタ次第デアリマシテ、此法人ノ中ニハ無論營利法人等デアリマシテモ入ルノデアリマス、唯裁判所ガコンナ法人ナラバ調査ヲ囑託スルノハマジイ、信用ガ置ケナイト思ヘバ、自由裁量ヲ以テ調査ヲ囑託シナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○齋藤委員長 第二款證人訊問ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○磯部委員 二百八十六條「宣誓ハ起立シテ嚴肅ニ之ヲ行フコトヲ要ス」トアリマスガ、是ハ要ラヌノデハナイカト思ヒマス、現行法ニモゴザイマセヌシ、コンナ事ハ司法大臣カラ裁判所ヘ言ウテ、宣誓ハ斯ウ云フ方法デヤレト云フコトヲ仰シヤレバ、一々御行儀ヲ良クシテ手ハ膝ノ上ニ必ズ載セテ置カナケレバナラヌト云フヤウナ事ヲ、民事訴訟法ニ規定シナクテモ宜ササウニ思ヒマス、是ハ寧ロ法律トシテノ體裁ヲ損フ規定デアルト思ヒマス、現行法ニ無クテモ現在ソレデヤッテ居ルノデスカラ、是ハ要ルマイト思ヒマス、大シタ事デハアリマセヌケレドモ、無クテ宜イモノハ成タケ法文ハ條數ガ少イノヲ尙ブノデアリマスカラ、コンナモノハ御捨テニナッタ方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○長島政府委員 是ハ刑事訴訟法デハ、御承知ノヤウニ確カ裁判長ガ起立シテ宣誓書ヲ朗讀スルトカ云フコトガアッタト思ヒマス、ソレハ矢張刑事訴訟法ニ大分嚴格ナ規定ヲ設ケマシテ、成タケ宣誓ト云フモノヲ從來ノヤウニ宜イ加減ナ事ヲシナイデ、嚴肅ニヤラウデヤナイカト云フコトカラ、刑訴ノ規定ガ設ケラレタヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、勿論式ダケ嚴肅ニ致シマシテモ、其宣誓者ニ良心ガナケレバ、是ハ

已ムヲ得ナイ事デアリマスガ、先ヅ出來ル、式ノ事ダケデモ、嚴格ニシタラドウカト云フノガ、刑訴ノ趣旨デアッタノデアリマス、所ガ實際ニ於キマシテハ、裁判長ダケガ立ッテ、傍聽人ナドハ皆坐ツテ居ルト云フノハ、ドウモ可笑シイデヤナイカ、ドウモ書クナラバ、宣誓ハ起立シテ嚴肅ニ行フト云フ風ニ書イタ方ガ宜カラウ、式ダケ立派ニ致シタ所デ、駄目ダト云ヘバ駄目デアリマスガ、法律ノ關スル所ハ式ノ形式ヲ規定スルヨリ外ナイノデアリマス、成ベク宣誓ノ神聖ヲ確保スルト云フ積リデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス

○平川委員 私モ此問題ニ付キマシテハ、磯部君ト同ジ意見デアリマス、刑訴ニハ私ハサウ云フ條文ハ無イヤウニ思ツテ居リマスガ、近頃斯ウ云フ事ヲ内規カドウカ知リマセヌガ、各裁判所デ二三年前カラ民事竝ニ刑事ニ於テヤッテ居ル、併シ初メノ間ハ嚴肅ニ起立シテヤッテ居リマシタガ、近頃ハ殆ドノ裁判所デモ、起立シテヤッテ居ルヤウナ裁判所ハ私ハ無イヤウニ思フ、斯ウ云フ形式的ノモノヲ置クヨリ、モウ少シ宣誓ヲシテ、サウシテ偽證ヲスル場合ノ制裁ヲ嚴重ニヤラレタ方ガ宜カラウト思フ、現在ニ於キマシテハ、隨分吾ミノ經驗ニ依ルト、證人ガ偽證ヲスル場合ハ澤山アルヤウニ思フ、所ガ刑事ニ於テハ直グ檢事ガ捕マヘテ、偽證罪ト云フヤウナ事デ威カストカ、或ハ偽證

罪デ起訴スル場合ガアリマスガ、民訴ニ於テハ殆ド是ハ告訴致シマシテモ、偽證罪ノ成立スル場合ハ少イ、況ヤ裁判長ガ偽證ト云フ事ヲ知リツツ、裁判長自ラ告發ノ形式ヲ執ッタト云フコトハ曾テ聞カナイ、吾々ハ斯ウ云フ空文形式ノモノヲ置クヨリ、寧ロ偽證ノ制裁ヲ嚴重ニヤラレタ方ガ、餘程效果ガアルヤウニ思フ、刑訴ニ於テハ私ハ斯ウ云フ條文ガアルト云フコトヲ發見シナイノデアリマス、兎ニ角民訴ニ於キマシテハ、斯ウ云フ條文ハ削ラレタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○長島政府委員 御尤ナ御質問デアリマスガ、併ナガラ偽證ノ制裁ト云フヤウナ事ヲ嚴格ニ行フノハ、無論必要デアリマスガ、他方ニ於テ式ヲ嚴肅ニシテ、成タケ偽證ノ制裁ノ無イヤウニスルト云フ事モ、亦一策デハナイカト思フノデアリマス、勿論是ハ式ダケヤッテモ何ニモナラヌ事デアリマスガ、マア規定ト致シマシテハ、式ノ事ダケデモセメテ規定シテ置イテ、嚴肅ナ神聖ナモノダゾト云フ事ヲ皆知ラセテ置ク方ガ宜イト云フダケデアリマス、刑事訴訟法ニハ裁判長ガ起立シテ宣誓書ヲ朗讀スルト云フコトニナッテ居リマスガ、此時ニ確カ私ノ間接ニ承ッタ所ニ依リマス、傍聽人モ全部立タセルト云フ事ヲ書カウデヤナイカト云フ說モアツタサウデスガ、裁判長ガ起立スルト云ヘバ、傍聽人ヲ立タセルコトハ自然

分ルデヤナイカト云フコトカラ、斯ウ云フコトニナツタト云フ風ニ承ツテ居リマス、本案ニ於キマシテハソレヲ漠然ト起立シテ嚴肅ニ行フト云ヘバ、傍聴人モ暗ニ入ルト云フコトニナリハシナ

リマス、唯實際ニ感ジタ所ヲ申上ゲマ

タイト思ヒマス

ムコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、ソコデ證言ハ拒メナイケレドモ、宣誓ハ拒メルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、此法案ノ希望致シマスル所ハ、或ハ宣誓ヲサセナケレバ嘘ヲ言フカモ知レナイ、併ナガラ兎ニ角喋ラセテ見ヤウデハナイカ、喋ラシテ見タナラバ、其間ニ真相ヲ得ルト云フコトモアリハシナイカト云フ所カラ出テ來タノデアリマス、而シテ著シク利害關係ガアルヤウナ場合ニ喋ラセルコトハ、慘酷デハナイカト云フ疑ハ御尤デアリマスガ、是ハ或ハ見方ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、或ル見方ニ依リマスト云フト、拒ムト云フコトハ却テイケナイノデアリマス、此事件ニ付テハ、大變ドウモ親族ニ利害關係ガアルカラ、私ハ拒ミマスと言フト、寧ロソレガ反對ノ推定ヲ受ケルヤウナコトニナツテ、拒ムト云フコトガ寧ロ自白ノヤウナ形ニナルノデアリマス、勿論證據ニ取ルコトハ出來マセヌガ、裁判官竝ニ傍聴人ニ、頭カラアレバ拒ムヤウデハ、愈イケナイト云フヤウニ見ヘルノデアリマス、ソレヨリ寧ロ喋ッテ胡麻化シテ置ク方ガ、却テ裁判官ヤ傍聴人ノ心證ガ宜クハナイカ、然ラバ嘘ヲ言ッテハ何ニモナラヌ、胡麻化シテ喋ッテ何ニモナラナイデハナイカト云フコトニナリマスガ、其間ニ真相ノ因キヲ得ルト云フコトニナルノデ、宣誓ヲサセナイデ聽クト云フコトニスレバ、大シテ慘酷ニ

テ居リマス

○岡本委員 私等ノ扱ッテ居リマス名古屋デハ、多ク行ハレテ居リマスケレドモ、當初ハ其目的ノヤウニ嚴肅デアッタヤウデスガ、習ヒ性トナツテシマッタモノカ、無意識ニ唯起立スルダケデアツテ、却テ之ガ爲ニ大勢ノ傍聴人ヲ立タシメテゴタ／＼混雜スルダケデス、嚴肅ト云フ事ハアベコベニ反對ニナツテシマヒハシナイカト云フ近頃ハ感想ヲ持ツテ居リマス(「其通り」)ダカラ私モ今ノ實際ニ於テハ却テ傍聴人ハ廷丁ヲシテ嚴肅ニセシメテ置ケバ、其方ガ效果ガアル、傍聴人ガ大勢來テ居ル時ニハ却テ混雜スル、刑事ノ方ハ——民事ハサウヒドクアリマセヌガ、何ノ爲ニ起立スルヤラ、殆ド無意識ニ唯傍聴人ナドハヤツテ居ルヤウナ様子デアリマスカラ、實際カラ見マスト、私等モドウカト云ヘバ無イ方ガ宜イカト思ッテ居

○長島政府委員 此案ハ御承知ノ通りニ、案全體ヲ通ジマシテ眞實ノ發見ト云フコトニ非常ニ努メタノデアリマス、何故訴訟ノ場合ニ於ケル第三者ノ證書提出ノ義務ト云フコトヲ廣ク認メルカ、或ハ檢證ノ場合ニ於ケル檢證ノ範圍ト云フモノヲ廣ク認メルカト云フト、詰リ裁判ノ公正ト云フコトハ、是ハ公益ノ問題デ、單リ私益ノ問題デナイノデアアル、非常ニ是ハ重大ナル問題デアルト云フヤウナ見地カラ致シマシテ、證言ノ義務其他訴訟提出ノ義務等ニ關聯致シマシテ、一般ノ國民ガ民事訴訟ノ嚴正ニ行ハレルト云フコトニ付テハ、非常ニ強イ義務ヲ負擔シテ居ルノデアアル、此事ハ彼ノ納稅等ノ義務、——少シ脱線シテ居ルカモ知レマセヌガ、納稅義務ト決シテ異ルモノデナイノダト云フ大キナ見地カラ出タノデアリマス、ソコデ然ラバドノ程度マデ義務ト云フモノヲ認メルノデアアル、人情ニ反シテマデ認メルカト云フコトハ勿論問題デアリマス、ドノ程度マデ人情ヲ加味シテ義務ヲ認メルカト云フコトハ、程度ノ問題デアリマス、ソコデ二百八十條ニ於テ、此親族等ノ利害ニ關スル事項ニ付テハ、成程證言ヲ拒ムコトハ出來ナイヤウニナツテ居ル、併ナガラ二百九十一條ニ於キマシテ、此二百八十條ニ掲グルモノニ付テ、著シキ利害關係ガアルヤウナ場合ニハ、宣誓ヲ拒

ムコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、ソコデ證言ハ拒メナイケレドモ、宣誓ハ拒メルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、此法案ノ希望致シマスル所ハ、或ハ宣誓ヲサセナケレバ嘘ヲ言フカモ知レナイ、併ナガラ兎ニ角喋ラセテ見ヤウデハナイカ、喋ラシテ見タナラバ、其間ニ真相ヲ得ルト云フコトモアリハシナイカト云フ所カラ出テ來タノデアリマス、而シテ著シク利害關係ガアルヤウナ場合ニ喋ラセルコトハ、慘酷デハナイカト云フ疑ハ御尤デアリマスガ、是ハ或ハ見方ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、或ル見方ニ依リマスト云フト、拒ムト云フコトハ却テイケナイノデアリマス、此事件ニ付テハ、大變ドウモ親族ニ利害關係ガアルカラ、私ハ拒ミマスと言フト、寧ロソレガ反對ノ推定ヲ受ケルヤウナコトニナツテ、拒ムト云フコトガ寧ロ自白ノヤウナ形ニナルノデアリマス、勿論證據ニ取ルコトハ出來マセヌガ、裁判官竝ニ傍聴人ニ、頭カラアレバ拒ムヤウデハ、愈イケナイト云フヤウニ見ヘルノデアリマス、ソレヨリ寧ロ喋ッテ胡麻化シテ置ク方ガ、却テ裁判官ヤ傍聴人ノ心證ガ宜クハナイカ、然ラバ嘘ヲ言ッテハ何ニモナラヌ、胡麻化シテ喋ッテ何ニモナラナイデハナイカト云フコトニナリマスガ、其間ニ真相ノ因キヲ得ルト云フコトニナルノデ、宣誓ヲサセナイデ聽クト云フコトニスレバ、大シテ慘酷ニ

ハナリハシナイデハナイカト云フヤウナ考カラ大體出來タ次第アリマス
○熊谷委員 二百七十四條デスガ、辯護士會ノ方カラ出テ居タカラ、御答ガアツタラウト思ヒマスガ、此條文ハ非常ニ必要ナ條文デアリマス、又議院閉會ノ時ハ、此規定ト云フモノハ適用出來ナイコトニナリマス、ドンナ風ニナリマスカ

○長島政府委員 議會閉會中ニハ、何トモ致方ナイノデアリマス、併ナガラ職務上ノ祕密デアリマス、結局祕密ノヤウナ事デ證人ノ法デモ設ケテ置カナイト絕對ニ聽ケナイヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマシテ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリマス
○熊谷委員 一寸場合ヲ想像シ兼ネマスガ

○長島政府委員 是ハドウモアナタ方ノ方ニ御分リニナラヌノニ、私ノ方ニハ能ク分リマセヌガ(翻譯デハナイデスカ)ト呼フ者アリ(別段翻譯デハアリマセヌガ、祕密會カ何カノ事デ、何カ國家ノ大工場ノ祕密ノヤウナ事ガ祕密會ニ入ツタ、サウ云フヤウナ祕密ノ事デス
○熊谷委員 司法省ノ關係ニサウ云フヤウナ事ガ起リマセウカ

○長島政府委員 無ケレバ無論適用ハ無イ譯デアリマスガ、有ルヤウナコトモ偶ニハ無イカト思ッテ置イタ次第デアリマス
○平川委員 此草案ニ依リマス、證

人ノ忌避ノ制度ヲ廢セラレテ居ルノデアリマスガ、併シ實際ニ證人ト當事者ガ近シイ親族トカ、配偶者トカ、或ハ後見人トカ云フヤウナ場合ハ眞實ノ證言ヲシナイ、即チ偽證ヲスル場合ガ多イヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テハ、當事者ノ利益ヲ保護スル意味カラ、忌避ノ制度ヲ置カレタ方ガ宜イト思ヒマスガ、政府ノ御考ハドウデスカ

○長島政府委員 是モ先程申上ゲマシタ條文ノ趣旨ト大體同ジデアリマシテ、成ベク範圍ヲ廣クシヤウ、嘘ヲ言フカモ知レマセヌガ、言ッテ居ル間ニ又閃キモアルダラウト云フヤウナ所カラ、結局廣ク探證ノ範圍ヲ用ヒルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、是ハ實際事務ニ當ッテ居ラレル平川委員ハ御承知ノ如クニ、折角唯一ノ證人デアッタモノヲ、忌避サレルト云フヤウナ事ハ、隨分アル、サウ云フ事ハ、マア何トカ代理デアルトカ色ミナ理窟ヲ付ケテ聽クヤウニ、裁判所ガ無理ニ代理關係ト云フコトデ實際聽クニハ不便ヲ感ジテ居ルガ、何トカ無理ニ潜ルヤウニシテ聽ク、或ハ雇人ナゾノ忌避ノヤウナ場合ハ、雇人ヲ解イテヤル、實際雇人ニ極ッテ居ルノニ、サウ云フコトヲスルヤウナ事ガ隨分アルノデ、矢張是ハ廣クシテ置ク方ガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス

○齋藤委員長 第三款鑑定、之ニ付テ御質問ヲ願ヒマス、——是ハ別ニ御質問ナイデセウカ
○熊谷委員 三百三條ノ意味ヲ一寸御説明ヲ願ヒタイ
○長島政府委員 御承知ノ通り證人ニハ勾引ノ規定ガアルノデアリマス、鑑定人ニハ勾引ノ規定ヲ置カナカッタノデアリマス、罰金ノ制裁デ十分デアアルノデハナイカト云フ考デアリマス、鑑定人ノ中ニハ或ハ日本中ニタツタ一人デアッテ困ルト云フノモアルカモ知レマセヌガ、殆ドサウ云フコトハアリマセヌ、餘人ヲ以テ代ヘラレルノデアリマス、勾引マデシテ引張ル必要ハナカラウト云フノデアリマス、罰金ハ準用ヲ確カシテ居ルト思フノデアリマスカ、三百一條ニ「鑑定ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前款ノ規定ヲ準用ス」ト云フ規定ガアルノデアリマス
○熊谷委員 サウシマス、鑑定人ハ他ノ鑑定人ヲ以テ代ヘ得ル、假ニ代ヘ得ル場合ガ餘計デ、殆ド其鑑定人デナケレバ出來ヌト云フヤウナコトハナイイト御想像ニナッテ居ルカラ勾引ヲシナイ、此規定ヲ要シタモノデアルト云フ御説明デスカ

○長島政府委員 其通デス
○熊谷委員 證人、鑑定人ト云フモノガアル場合ガ多クアル、證人ニシテ且ツ鑑定人ト云フ場合デスナ、實際是ハハ證人ノ場合ニ苟モアレバ證人ノ方デ勾引ガ出來ル、鑑定ハ又證人ノ供述ニ依テ更ニ別段ニ鑑定ヲ要スルヤウニナ

ル、自分ガ或ル車蹟ヲ實檢シテソレガ鑑定ト結ビ付ク場合ガアル
○長島政府委員 鑑定證人ニ付キマシテハ三百九條ノ規定ガアリマシテ、證人訊問ニ關スル規定ガアリマス、此時ハ勾引ガ出來ルコトニナルノデアリマス
○齋藤委員長 書證ニ移リマス
○磯部委員 此度ノ書證ノ規定ハ現行法ト違ッテ大變範圍モ廣メラレタノデアリマス、即チ第三者ニ於テ係爭訴訟ニ於テ引用シタル文書ヲ提出セナケレバナラヌ義務ガアルコトヲ御認ニナツタノデアリマスガ、是ハ外國ノ立法例ニハアルノデアリマセウケレドモ、隨分極端ナ場合ヲ考ヘテ見ルト、何等訴訟ニ關係ノ無イ第三者ガ、申立ニ依テ自分ガ祕密ニ所持シテ居ル文書ヲ、裁判所ニ出サナケレバナラヌ場合ガアルコトヲ想像シナケレバナラヌ、何カノ意味合ニ依テ或ル者ガ祕密ニ持ッテ居ル文書ヲ裁判所デ公ニセシムル目的ヲ以テ、殊更ニ訴訟ヲ仕組ンデ唯ソレダケヲ目的ニシテ、即チ敵本主義デ訴訟ヲ起スト云フ場合モ想像シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其等ノ點ハ立法者ハ御考慮ニ相成タノデアリマス、ドウデアリマスカ

○森田政府委員 ソレハ斯ウ云フ事カラ規定ニナツタノデアリマス、現行法デハ相手方ニ付テ書定ノ提出義務ヲ認メテ、サウシテ第三者ノ同ジ原因ガアル

トキハ別ノ訴訟デソレヲ出サセルト云フ規定ガアッタノデアリマスガ、ソレハ第三者ニ對シテハ別ノ訴訟ヲ起シテ、サウシテソレヲ出サセルト云フコトハ審理ガ遅レルト云フ缺點ガアルカラ、ソレデ第三者ニ對シテモ提出命令ガ出來ルト云フコトニシタノデアリマスケレドモ、ソレハ此三百十二條ノ原因ノアルトキバカリニ限ッテ其義務ヲ認メタノデアリマス、詰リ三百十二條デハ「文書ノ所持者ハ」ト云フコトニナッテ居リマシテ、相手方第三者ト云フ風ニ限定ガシテナイノデアリマス、サウシテ三百十二條ノ第一號ノ場合ハ、是ハ當事者ノ場合ダケデアリマスガ、第二號及第三號ノ原因ノアル場合ニ限リマシテ、第三者モ提出ノ義務ガアルト云フコトニ規定シタノデアリマス、若シ此條件ガナイトキニハ第三者ニ對シテハ提出命令ヲ求メルコトガ出來ナイノデアリマス、大體ニ於キマシテ現行法ト餘リ變リガナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○磯部委員 第三百二十六條ニ「私文書ハ本人又ハ代理人ノ署名又ハ捺印アルトキハ之ヲ真正ナルモノト推定ス」ト云フコトヲ書クト云フト、辯護士會カ何カデ意見ヲ立テ答デスガ、訴訟提起後ニ第三者ノ作製シタ書證ト云フモノガ出テ來ヤシマセヌデセウカ、此御意見ハ既ニ御發表ニナリマシタカ、御發表ニナリマシタナラ簡單デ宜シウ

○長島政府委員 ソレハ既ニ意見ヲ申上ゲタノデアリマス、御承知ノ通りニ形式的證據力ノ問題デアリマシテ、是ハ解釋問題ニ本案ニ於テモ委セタノデアリマス、唯是ハ私文書ノ形式的證據力ノ問題ニハ觸レマセヌデ、形式的證據力ノアル私文書ニ付テ成立ノ問題ヲ定メタノデアリマスカラ、結局成立ノ問題ダケヲ規定致シマシテ、形式的證據力ノ問題ハ矢張現行法通りニ、解釋ニ讓ルト云フコトニ致シタノデアリマ

○磯部委員 宜シウゴザイマス

○齋藤委員長 第五款檢證ニ移リマス——御質問アリマセヌカ、第六款當事者訊問ニ移リマス

○磯部委員 是ハ當事者訊問ニ其當事者ガ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ科料ニ處スルト云フコトハ、是ハ大變ナ問題ガアル所デアリマシテ、是非訂正シタイト思フノデアリマスガ、是ハ小委員會ニ讓ルコトトシテ留保シテ置キマス

○齋藤委員長 第七款證據保全、之ニ就テ御質問ヲ願ヒマス——御質問ガナケレバ第二章區裁判所ノ訴訟手續、之ニ移リマス

○平川委員 第三百五十五條「被告カ反訴ヲ以テ地方裁判所ノ管轄ニ屬スル請求ヲ爲シタル場合ニ於テ相手方ノ申立アルトキ」此場合ニハ「區裁判所ハ決

定ヲ以テ本訴及反訴ヲ地方裁判所ニ移送スルコトヲ要ス」ト云フ居ル、此規定ハ非常ニ弊害ガアリハシナイカト思フノデアリマス、地方裁判所ノ管轄ニ屬スベキ事件ヲ區裁判所ニ反訴トシテ提起スルコトガ出來ル、サウスルト惡意ノ相手方ヲ——惡意ノ被告ヲ保護スルト云フヤウナ結果ニナリハシナイカ、例ヘバ此訴訟ヲ遲延セシムルトカ、或ハ其他ノ理由ニ依テ地方裁判所ノ管轄ニ屬スベキ訴訟ヲ反訴トシテ出ス、是ハ無論起スベキ理由ハ無クトモ、千圓以上ノ價格デアリマスレバ直ニ地方裁判所ヘ移送ノ出來ルコトニナリマスカラ、惡意ノ被告ヲ保護シテ訴訟ヲ遲延セシメル虞レガアルヤウニ思ヒマスガ、政府ハドウ云フ御考デアリマスカ

○長島政府委員 本案ハ詰リ區裁判所ニ本訴ノ起キテ居リマス場合ニ、被告ガ地方裁判所ニ屬スル請求ヲ以テ反訴ノ目的ト致シタ場合デアリマス、一體區裁判所ニ本訴ガ起ッテ居リマス場合ニ、地方裁判所ニ屬スベキ反訴ヲ行フ場合ニ、起スコトヲ許スコトガ宜イカト云フコトハ問題デアリマス、反訴ハ前ニモアリマシタ通り、本訴ト牽連關係ノモノデアリマスカラ、成ベク同ジ裁判所デ一緒ニ片付ケテシマウ方ガ訴訟ノ簡易ト云フコトヲ圖ル上ニ於テ宜イデハナトカト云フノデ、區裁判所ニ本訴ガ起ッテ居ル場合ニ、反訴ヲ地方裁判所ニ屬スルモノデモ區裁判所ニ起セルト

云フコトニシタノデアリマス、然ル所茲ニ重イ訴訟ガ輕イ裁判デ判決サレルト云フ結果ニナリマスカラ、相手方ニ於テ是レハ困ルト申セバ、地方裁判所方ニ移スト云フコトニ致シタノデアリマス、成程ソレニ依テ態ト訴訟ヲ延ス爲ニ反訴ヲ起ス場合ガアルカモ知レマセヌガ、ドウセ反訴ノ請求ガ無ケレバ訴ハ起セナイノデアリマスカラ、反訴ノ請求權ガ有ル以上ハ一緒ニ裁ク爲ニ此所デ起シテモ宜イデハナイカ、訴訟ヲ作ル譯ニハ行キマセヌカラ、反訴ガ實際有ル場合デアリマスカラ、サウスレバ此所デ起シテ、サウシテ相手方ノ方デソレデ満足シテシマヘバ決審ガ出來ル、困ルト云ヘバ地方裁判ニ移スノデアリマスガ、移ストシテモ大シテ手間モ掛リマセヌシ、二ツノ裁判ヲ一氣ニ處理シテシマッタ方ガ便宜デハナイカト思ヒマス

○廣瀨委員 三百五十六條ニ「民事上ノ爭ニ付テハ」トアリマス、是ハ民事上ノ爭ト區別スル爲ニ書イタノデスカ

○長島政府委員 特ニ民事上ノ爭ト區別スルト云フ深イ意味ガ有ッテ書イタノデアリマセヌ、自然是ハ民事訴訟デアリマスカラ、人事ノ事ハ無論此中ニ入ッテ居ラナイノデアリマス、強テ申セバ唯「爭議ニ付テハ」ト云フコトモ書ケズ、言葉ノ語呂ノヤウナモノデアリマス

○齋藤委員長 次ハ第三編上訴、第一

章控訴

○磯部委員 御審理ノ進行ノ爲ニ一言致シマス、控訴並ニ上告ニ付テ訴訟權ノ範圍ニ制限ヲ加ヘタル點、竝ニ上訴期間ノ短縮シタル點ハ、私共ガ此度提出セラレタ新訴訟法案ニ反對スル最モ強イ點デアリマスカラ、此質問ハ全部小委員會ニ附サレテ、サウシテ此委員會ニ於テハ其以外ノ分ニ對シテ進行セラレンコトヲ望ミマス

○齋藤委員長 ドウカサウ云フ御趣旨デ御質問ヲ願ヒマス、第一章控訴、第二章上告、第三章抗告、之ニ就テ御質問ガアレバ……

○禰委員 此上告ニ付キマシテ矢張上告ノ範圍ニ屬スルコトデハアリマシガ、此財産上ノ金額ノ點ニ關スル分ヲ除イテ、一體大審院ハ裁判ヲ統一スルコトヲ目的デアラウト思フ、大審院創設ノ詔書ノ如キモ「裁判ヲ鞏固ニスルニ在リ」其鞏固ト云フノハ統一ト云フコトモ含マレテ居ルデアラウト思フ、而シテ日本ノ訴訟手續ニ於テハ以前ハ刑事デアリマシテ民事デアツテモ、大審院ハ法律ノ解釋適用ヲ誤リタル時ニソレヲ統一スルト云フヤウニナツテ居リマスケレドモ、裁判ノ中ニハ單ニ法律ノ適用バカリデナク、事實ノ認定モ矢張包含シテ居ルノデアリマシテ、其事實ノ認定ガ甲乙人ヲ異ニスルニ依テ非常ニ違フ場合モアル、又事實ノ認定ヲ誤レルコト甚シキ場合ニ於テハ、是

ハ矢張大審院ニ於テ審理シテ其眞實ヲ認メ、サウシテ當事者ヲ悅服セシメルコトヲ大審院ノ任務デナイカト思フ、其趣旨カラ刑事訴訟法ニ於テモ事實ノ認定ヲ誤ッタコトガ明カデアリマシ場合ニ於テハ、上告裁判即チ大審院ニ於テモ審理デ居ルノデアリマス、而シテ刑事手續ト民事手續ト之ヲ區別スベキ理由ハ何モ無カラウト思ヒマス、此意味カラ大審院ニ於テモ事實ノ審理ヲモ爲スコトガ出來ルヤウナ途ヲ開イテ置ク方ガ今日ノ時代ニ適スル、又大審院モ其目的ヲ遂行スルコトガ出來、大審院創設ノ趣旨ニモ副フ所以デアルト考ヘルノデアリマスガ、尙ホ斯ウ云フ理由ガアルニ拘ラズ——或ハ私ノ申上ゲル理由ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、間違ッテ居ッタ間違ッテ居ル點ヲ御指摘ヲ願ヒタイ、間違ッテ居ナケレバ何故ニ斯ノ如ク區別スル理由ガアルカ、之ニ就テ先ヅ御意見ヲ伺ヒタイ

○長島政府委員 此點ニ付テハ刑事訴訟法ニ於テ多少事實ノ審理ヲスルト云フコトガ採用サレテ居リマスノデ、民事訴訟法ノ起草ノ際ニモハ非常ニ研究サレタノデアリマスガ、御承知ノ通り大審院ハ一箇處シカアリマセヌノデ、事實ノ取調ヲスルト云フコトニハ非常ニ不便ナノデアリマス、證人ヲ調べルト致シマシテモ、或ハ檢證ヲスルト致シマシテモ、非常ニ不便ナノデアリマス爲ニ、段々其實事ニ遠ザカテ來

ルト云フ傾向ガアルノデアリマス、ソコデ法律ノ判斷ヲ致シマスルト、申スマデモナイコトデアリマスガ、判決例ト云フ一種ノ法律的ノモノヲ作製致シマシテ、自由法解釋のニ段々法律ノ進步ヲ圖ルコトモ必要デアリマスケレドモ、事案ノ判斷ハソレ一ツ限リノコトデアリマシテ、事實ヲ調べル上ニ於テ不便ト云フコト、統一ト云フコトノ必要ナイコト、其他色々ノ點ヲ考慮致シマシテ、兎ニ角民事訴訟法ニ於テハヤラナイコトニシヤウ、其結果ヲ見テ徐ロニ爲シテ遲クハナイ、斯ウ考ヘタ次第デアリマス、尙ホ詳細ノ點ハ小委員會デ申上ゲルコトニ致シマス

○禰委員 其點ニ付テハ小委員會デ詳細承ルコトニ致シテマス、次ニハ上告ノ法律ノ三百九十六條ニ、法令ニ違背シタル事項ヲ六箇掲ゲラレテ居リマス、之ヲ再審ノ事由トナルベキ事項ヲ四百二十條ニ規定シテ居ラレマスモノカラ見ルト、少シ狭クナツテ居リマス、再審ハ此處ニアリマス通り、「上訴ニ依リ其ノ事由ヲ主張シタルトキ又ハ之ヲ知リテ主張セサリシトキハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フ規定ガアリマスガ、若シ上訴中ニ是ダケノコトガ上告ニ違背スルト知ッテ居ッテモ、其外ノ再審ノ事由ノアル場合ニ之ヲ主張シナカッタラバ、再審ハ出來ヌコトニナル、サウスルト結局再審モ出來ナケレバ、上告モ出來ナイト云フ事項ガ出來テ來ル、一例ヲ申

シマス、例ヘバ四百二十條ノ七項「證人鑑定人通事又ハ宣誓シタル當事者若ハ法定代理人ノ虚偽ノ陳述ガ判決ノ證據ト爲リタルトキ」此場合ニハ上告ノ事由ニナラヌト考ヘマスガ、其時ニ斯ウ云フ事由ガアツタ時モ、矢張當然是ハ法律ニ違背シタルモノデアルト見ナイト上告ハ出來ヌ、再審ハ確定判決ニ依テ再審ノ事由ガ確定スルノデアリマスカラ、其事由ヲ知リタル日ヨリ四百二十四條ニ依テ三十日內ニ之ヲ提起スルコトヲ要スト云フコトニナルト、到底此事由ニ依テハ上告モ出來ナケレバ、再審モ出來ナイ結果ニ陥リハセヌカト思フノデアリマスガ、故ニ、私ハ此三百九十六條ノ中ニハ此事項以外ニ再審ノ事由アル場合ヲ包含セシムルニ非ラズンバ、救済スルコトガ出來ヌデハナイカト云フ疑ヲ持ッモノデアリマス、政府

○長島政府委員 是ハ御尤ナ御尋デアリマスガ、實ハ本案ニ於テハ現行法ノ取消ノ訴ト云フノト、現狀回復ト云フモノヲ一緒ニ致シマシテ、再審ノ中ニ入レタノデアリマス、本案四百二十條七項ニ當ル場合ニハ、現行法四百六十九條第四項ニ當ル場合デアリマシテ事實審ノ問題ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其以外ノ、例ヘバ五、六、七、八等、是等モ何レモ事實審ノ問題トナツテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ控訴ハ出來ルケレドモ、上告ハ出來ナイ、

上告審ガ法律審ヲ扱フコトニナル、ソレデ足ラナイト云ヘバ足ラナイノデアリマス、上訴ニ依リ其事由ヲ主張シタルトキトアリマスノハ、詰リ控訴ガ出來ルガ、上告ガ出來ナイ部分ニ付テハ、無論上告ニ於テ之ヲ主張シナカッタカ
ラト云ツテ再審ノ事由ニナラナイ譯デハナイ、控訴ヲシナカッタト云フトキハ、再審ノ事由ニナラナイト云フトコトニナルト、控訴審ハ確定致シマシテモ、後日其事由ガ分レバ再審ノ事由ニナル、是等ノ事由ニ付テハ上告ハ許サヌガ、再審ニハナル、詰リ事實審デアリマスカラ控訴デ確定致シマシテ、後日事ガ發見サレバ再審ニナリマス、再審ニナツテ控訴審デ判斷スル大體斯ウ云フコトデ出來テ居ルノデアリマス

○禱委員 四百七條デアリマスガ、是ハ事實ノ方カラ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、例ヘバ差戻シ移送ヲ大審院ガ破毀致シマシタ時分ニハ、破毀ノ事由トナシタ所ノ法律上ノ判斷ニ羈束セラレマス關係上、其破毀移送ニナツタ後ニ同一事實ニ適用スベキ法律ノ解釋ヲ爲ス場合ニ於テ、若シ大審院ガ其判決例ヲ變ヘタ、斯ウ云フ場合ニナルト、此羈束セラレル關係上矢張判例ハ變ヘテモ、前ノ通りニ判斷シナケレバナラヌガ、ソレヲ是ダケノ條文デ救済ガ出來マスカ

○長島政府委員 解釋上相當ムズカシイ問題デアリマスガ、大體本案ノ趣旨ト致シマシテハ、一旦上告審ガ爲シタル所ノ判斷ト云フモノハ、其後ノ判決例ニ依テハ變ラナイノデアアル、詰リ現判決ヲ破毀シタ所ノ事由トナツタ裁判ト云フモノハ、上告審自身ヲモ羈束スルノデアアル、上告審自身ノ裁判デアリマスカラ、上告審自身モ爾後ノ判例ト衝突シテモ變ヘラレナイト云フ解釋デアルノデアリマス、ソレデ上告審ノ結果差戻シナリ移送ナリ、サウシテ上告審ニナル、此間判例ノ變更ガアツテモ前ノ上告審ノ爲シタル判決ハ動カナイ、結局後ノ判例デ前ノ一旦爲シタル判決ト云フモノヲ動スコトガ出來ルコトニ致スノハ、明瞭ナ場合ハ宜シイノデアリマスガ大多數ノ場合ニ於テハ訴訟關係ヲ擴張セシムル結果ニナリハシナイカ、寧ロ一旦爲シタル上告審ノ裁判ト云フモノハ、其後ノ判例ノ變更ニ依テハ變ラナイ、爾後ノ裁判ニ羈束サレルト云フ風ガ宜イデヤナイカト大體考ヘテ居ルノデアリマス

○磯部委員 今ノ御説明ニハドウモ、私共了解シ兼ねマスガ、具體的ニ事實々々ニ依テ違フカラト云フ御話デアリマスガ、私ガ現ニ實際ニ遭ツタ事件ニモ例ノ私生兒認知ノ裁判デ、私生兒認知ノ原告トナルベキ當事者ノ資格ガ法廷代理人デアアルカ、或ハ私生兒自身デアアルカト云フコトデ大審院ガ見解ヲ二度モ三度モ變ヘタガ爲ニ、一度適法ニナサレタ訴ガ、大審院へ行ッテソレガ差戻シニナツテ、又大審院ヘ來テ又變ッテ、結局ドウモ馬鹿ヲ見タト云フ事案モ實際アルノデアリマス、幾ラモサウ云フコトガ是カラモアルト思ヒマス、本當ノ法律上ノ解釋ニ付テ、當事者ノ資格ト云フコトニ付テ、大審院ノ見解ガ一月カ二月デ變ルノデアリマス、斯ク一遍ヤッタ法律上ノ判斷ヲ爾後大審院ガ羈束スルト云フコトハ、甚ダ耳新シイ御議論デ、私不肖ニシテ左様ナ學理、判例ノアルコトヲ存ジマセヌガ、ソレハ間違ナイノデアリマスガ、ソレカラモウ一ツ序ニ御尋致シマスガ、從來大審院ニ於テ例ヘバ多數ノ當事者ノ中ニ、中斷ガアツテ之ヲ知ラズニ裁判ヲシタト云フ、重要ナル手續上ノ誤リガ一審以來アツタ場合ニ於テハ、大審院デ破毀シタ場合ニ一審裁判所ニ移送スルト云フコトデアッタノデアリマスガ、之ヲ御認メニナルノデアリマスカナラヌノデアリマスガ、御認メニナラヌモノノヤウニ思ヒマスガ御認メガナイト不都合ノ場合ガ生ジャシナイカト云フトノ保障ガ出來マスガ、ドウデアリマスカ

○長島政府委員 第一ノ點ニ付テハ尙ホ研究シテ小委員會デ申上ゲマス、第二ノ點ハ私ハ能ク分リマセヌ、兎ニ角本案ニ於キマシテハ第一審裁判所ニ差戻ス場合ハ無論想像シテ居リマス、原裁判所中ニハ第一審裁判所モ含ンデ居ル積リデアリマス

○磯部委員 原裁判所ト云フト、大審院カラ云フト原裁判所ハドウシテモ控訴院デナケレバナラヌ、ソレデ私ノ云フ意味ハ斯ウ云フ意味デアリマス、大審院デ事件ヲ破毀シテ、一審裁判所ヘ移送スル場合ガ從來アツタガ、矢張一審裁判所ヘ移送スル場合ハ想像シテ居リマスガ、ドウデアリマスカ

○長島政府委員 ソレハ想像シテ居ル積リデアリマス

○磯部委員 原裁判所ト云フト、ドウシテモ是ハ文面カラ云フト第二審裁判所ト云フヨリ仕方ガナイト思ヒマス

○長島政府委員 或ハ言葉ハ少シ惡イカ知レマセヌガ、此處在ル原判決ト云フ言葉ハ、場合ニ依リマス第一審判決ヲモ含ンデ居ル積リデアリマス、詰リ破毀サルベキ其判決デアリマス、破毀ノ目的トナツテ居ル裁判デアリマスカラ、矢張原判決デアリマス、サウ云フ意味デ書イテ居ルノデアリマスガ、或ハ言葉ハ少シ足りナイカ知レマセヌガ、兎ニ角破毀ノ目的トナツテ居ル所ノ判決ハ原判決デアリマス、斯ウ云フ解釋デアリマス

○齋藤委員長 第四篇再審ニ移リマス、之ニ就テ質問ハアリマセヌカ

○菅原委員 再審ノ提起ニ付テ御尋シマス、四百二十四條ニ「再審ノ事由ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス」トアルヲ、期間ヲ貴族院デハ「三十日以内」ト修正サレマシタ、サウスルト控訴ノ場合ニ於テ二週間、上

告モ二週間ト云フコトニシテ、再審ダ

ケ三十日以内ト云フコトハ多少觀念上

ニ不統一ヲ來ス虞レガアルト思ヒマ

ス、是ダケヲ三十日以内ニ修正スルコ

トニ御同意ニナリマシタカ、二週間ト

三十日トハ大變期間ガ違ヒマスガ、此

點ニ關スル御説明ヲ願ヒマス

○長島政府委員 大シタ區別モアリマ

セヌ、私ガ説明致シマシテモ、果シテ御

感服ニナルカドウカ分リマセヌガ、結

局此再審ハ御承知ノ通り非常ニ顯著ナ

事由ガアリマシテ、詰リ確定判決ガ潰

レル程重大ナ事デアリマスカラ、元來

申セバ判決ソレ自身ガ一切無効デア

カト思ハレル場合スラモアル位デア

リマスカラ、是ダケハ期間ヲ延シテ三十

日トシタ方ガ宜カラウト云フ位ノ程度

デアリマス

○齋藤委員長 第五篇督促手續ニ付テ

御質問ヲ願ヒマス——是ハアリマセ

ヌ、サウスルト第六篇強制執行全部ニ

付テ、是ハ何カ前ヲ改正セラレル結果

トシテ補ハレタヤウナモノデアリマス

カ

○長島政府委員 サウデアリマス

○齋藤委員長 ソレカラシテ第七編公

示催告手續、第八編仲裁手續、是等ニ就

テモ御質問アリマセヌカ——サウス

ト是デ逐條質問ハ終リマシタ、ソコデ

是カラシテ小委員ヲ設ケマシテ、小委

員ノ手ニ審議ヲ移スト云フコトニ付テ

別ニ御異存アリマセヌデスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○齋藤委員長 小委員ノ數ハ幾各ニ致

シマスカ、委員長ヲ入レテ十名ニシテ、

其指名ハ委員長ニ一任スルト云フコト

ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○齋藤委員長 ソレデハ小委員ヲ指名

致シマス、廣瀬德藏君、平川松太郎君、

菅原英伍君、黒住成章君、熊谷直太君、

磯部尙君、則元由庸君、禰苗代君、清瀬

一郎君此九名ノ方ニ御願ヒ致シマス、

ソレカラシテ明日ハ休ミマシテ、明後日

ノ午前十時カラ小委員會ヲ開キマスル

カラシテ、ソレマデニ十分御調べ下サ

イマシテ、相當ナ腹案ヲ持ッテ御集リ下

サランコトヲ希望致シマス、更ニ御諮

リ致スコトガアリマス、理事ノ戸澤民

十郎君ガ委員ヲ辭任セラレマシテ、其

代リニ服部英明君ガ委員ニナラレマシ

タノデアリマス、隨テ理事一名ノ補闕

ヲセネバナラヌノデアリマスガ、委員

長ノ指名デ別ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○齋藤委員長 サウスルト服部英明君

ニ御願ヒ致シマス、今日ハ是デ散會致

シマス

午後四時十四分散會